RETRO YOKOCHO
SHOTENGAI

レトロ横丁商店街

喜多方「レトロ横丁商店街」事業

商店街 中長期ビジョン策定

～ふれあい通り商店街 新愛称「レトロ横丁商店街」～

RETRO YOKOCHO
SHOTENGAI

レトロ横丁商店街

喜多方市中央通り商店街振興組合
喜多方市仲町商店街振興組合
しもなん活性化協同組合
喜多方「レトロ横丁商店街」事業

2021 年 2 月

RETRO YOKOCHO
SHOTENGAI

レトロ横丁商店街

表紙　会津型：変形格子

喜多方「レトロ横丁商店街」事業
商店街中長期ビジョン策定

喜多方市中央通り商店街振興組合
喜多方市仲町商店街振興組合
しもなん活性化協同組合
2021 年 2 月　発行

計画・デザイン　合同会社 設計まちづくりテント
協力　秋田公立美術大学　鈴木晴賀

はじめに　ふれあい通り商店街の概要　3
喜多方市のふれあい通り商店街の位置づけ　4
ふれあい通り商店街の特徴　6
『3』商店街の特徴　9

CHAPTER 1　「喜多方レトロ横丁」のこれまでといま　11
喜多方レトロ横丁の歴史とこれまでの活動　12
レトロ横丁商店街に向けた課題と可能性　16

CHAPTER 2　「レトロ横丁商店街」に向けて　19
新愛称「レトロ横丁商店街」/ ロゴマーク　20
全国に見られる「レトロ」なまちづくり事例　22
「レトロ横丁商店街」コンセプトと基本的戦略　24

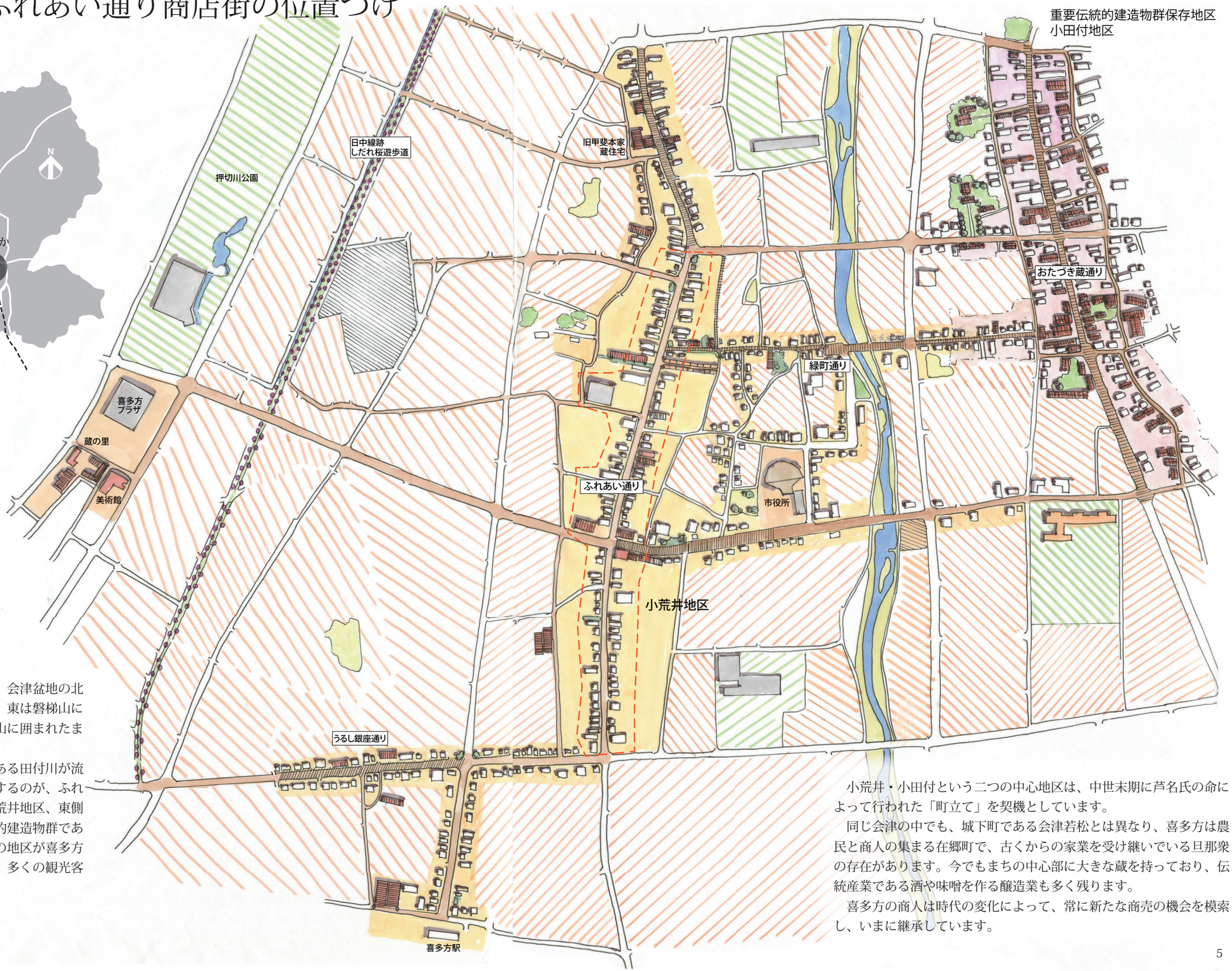
CHAPTER 3　これからのアクション　25
「レトロ横丁商店街」具体的施策　26
2021-2025｜スタートアップ事業企画プラン　28
2026-2030｜パワーアップ事業展開プラン　34
「レトロ横丁商店街」全体将来計画　44
仕組みづくりと運営方法（ヒト・モノ・カネ）　48
事業の展開シナリオ・スケジュール　49

番外編　レトロ横丁商店街の未来に向けて　51
喜多方まちなか再生計画　52
あの店この人　58

はじめに

ふれあい通り商店街の概要

喜多方市のふれあい通り商店街の位置づけ



喜多方市は福島県北西部、会津盆地の北部に位置し、北は飯豊連峰、東は磐梯山に隣接する雄国山麓があり、山に囲まれたまちです。

市の中央には一級河川である田付川が流れ、川を挟んで西側に位置するのが、ふれあい通り商店街を有する小荒井地区、東側に位置するのが、重要伝統的建造物群である小田付地区で、この２つの地区が喜多方市街地の中心となっており、多くの観光客が訪れています。

小荒井・小田付という二つの中心地区は、中世末期に芦名氏の命によって行われた「町立て」を契機としています。

同じ会津の中でも、城下町である会津若松とは異なり、喜多方は農民と商人の集まる在郷町で、古くからの家業を受け継いでいる旦那衆の存在があります。今でもまちの中心部に大きな蔵を持っており、伝統産業である酒や味噌を作る醸造業も多く残ります。

喜多方の商人は時代の変化によって、常に新たな商売の機会を模索し、いまに継承しています。

ふれあい通り商店街の特徴

ふれあい通り商店街は、商店街加盟店舗：79店舗の仲町商店街振興組合／中央通り商店街振興組合／しもなん活性化協同組合の３つの商店街からなり、喜多方駅から約1kmの距離にあります。市中心部を南北に貫く県道喜多方会津坂下線沿いの約840メートルの、江戸・明治以来の個性的な店舗蔵（店蔵 ）が軒を連ねる歩いて回れるコンパクトな商店街です。

2000年以降は北沢猛氏率いる東京大学都市デザイン研究室が中心となり、様々な活動が実施されてきました。それらの7年間に渡る喜多方まちづくりの基礎や資源（蔵/みち/水と緑等）、軌跡等についての調査・検討やその成果は、喜多方へのまちづくり提案（７案）等とともに「まちづくりブック」（2008）としてまとめられています。これらの活動を通して、蔵や歴史的景観を活かすことで商店街の魅力向上･活性化につなげるため、2009 (平成21)年から、蔵のまちなみ景観を覆っているアーケードの撤去や、無散水消雪歩車道整備、街路灯の設置、電柱の地中化などの事業が取り組まれており、もうすぐ完了予定です。

あわせて景観協定策定とともにファサード整備も進められてきましたが、ふれあい通りの商店街の特徴として、約10年前に作成されたまちづくりブックに記載されている蔵一覧を基準に、今も変わらない魅力や、新たに生れた魅力等を地域資源として、次図にまとめました。

立地的特徴

喜多方市役所新庁舎建設や甲斐本家蔵住宅の展開、旧喜多方商業高校跡地のしだれ桜の駐車場整備など主要な拠点の整備の変化や、小田付地区の伝統的建造物群保存地区の指定など、ふれあい通り周辺の環境も整えられており、そのちょうど真ん中に位置するふれあい通りは、来訪者の増加が期待されるとともに、それらをつなぐエリアとして、とても重要な位置にあります。

景観の取り組み

まちなかの主要なエリアは、景観協定や保存地区指定が進められ、まちなみづくり等を進める素地が整えられています。

平成19年2月　仲町商店街景観協定
平成22年9月　中央通り商店街景観づくり協定
平成22年9月　しもなん地区景観づくり協定

蔵庭の取り組み

「蔵庭」は、無散水消雪歩車道整備に合わせて、蔵に映える街並みの創出と、ゆとりや賑わいの休憩空間の創出を目指すもので、まちなかに多く立地する空き地を、表から見えるようになった蔵と調和しながら緑を中心に修景し、皆で使い育てながら魅力的な空間として創られたポケットパークです。

駅前エリアとふれあい通りの北側に集中していましたが、中間地点の下南地区にも創出され、駅からまちなかのネットワーク化もますます図られています。

・まちなかの７つ目の蔵庭として整備
・蔵庭の奥には焼菓子店もオープン

変わらない魅力

若喜商店

笹屋旅館

嶋新（三十八間蔵）

修景された蔵

1 金田洋品店　2 喫茶くら　3 中の越後屋　4 島慶園

5 清川酒造　6 レディス島屋　7 冠木薬店　8 松本屋

新たな魅力

A 塩川屋+野菜蔵

・塩川のブランド豚 / エゴマ豚をまちなかで発信していこうと、2014 年 4 月にラーメン屋「塩川屋」としてリニューアル。
・裏の蔵は未活用だったが、生産者と消費者の交流の場をという思いから、2019 年 6 月に特産品販売所として「とんとん野菜蔵」をオープン。

B 蔵人

・蔵と裏の三十八間蔵は国登録有形文化財に指定されており、ふれあい通りに面した蔵を、会津産の野菜と酒を販売する店舗として活用。
・2013 年 7 月からは、店舗の中に「糀 cafe 醸し家」をオープン。

C 大善

・子育て支援施設やイベント空間として様々に活用されてきた店舗。
・2019 年 11 月に「結まーるプラザ」として、音コンのイベント時の利用から、恒常的な施設としてオープン。

『３』商店街の特徴

仲町商店街振興組合

小売店・飲食店が多く修景も進んでいる

アーケードと電柱の撤去により蔵の全体が見えるようになり、通り沿いの多くの建物において、建替えや通りに面した外観の修景が行われています。明るくなった店構えや景観協定で修景した看板の設置など、開放的な軒先となり、小売店舗と飲食店も多いエリアで、観光客にとってより入りやすい雰囲気となっています。

また、重要伝統的建造物群保存地区である小田付地区とつなぐ主要な通りである緑町通りや、喜多方レトロを表出するマーケット通りなどがあり、よこみちや路地的空間への入り口となる商店街です。さらに三十八間蔵前の空地は、蔵庭として植栽・照明の設置や休憩スペース、周囲の社寺への回遊や散策を促す表参道のような通路として整備が進められており、歴史的道すじともつながる核となる商店街といえます。

緑町通り

マーケット通り

三十八間蔵通り

中央通り商店街振興組合

若手による新たな活用も進むが、空き店舗も多い

アーケードと電柱の撤去により蔵の全体が見えるようになり、明るくなった店構えや景観協定で修景した看板の設置など、開放的な軒先となり、観光客にとってより入りやすい雰囲気となっており、通りの整備に合わせて人通りも増加し、若手の後継者による店舗の展開も図られ、若い人たちが集まるような新たな活用のケースも多く見られます。一方で重厚な店蔵が空き店舗となってしまっていたり、シャッターがおりたままの店舗も多く、課題となっています。

漢字のまちの桐板の看板が最も集中して飾られているエリアで、古代文字のミステリーウォークでも必ず通るルートとなっています。

子どもや若者も訪れるクレープ屋さん

連続して見られる古代文字桐板看板

しもなん活性化協同組合

専門的な事業所が多く、職人のまち
駅から至る最初のまちの顔となる重要なエリア

ふれあい通りの中では、道路整備が仲町・中央通りに次いでの整備となったため、またもともと蔵の少ない通りであることから、修景はあまり進んでないが、長年活用されてなかった大規模な敷地にアパートやコンビニが建設されるなど、大きな変化が見られます。

駅からふれあい通りへと至る最初の商店街であることや、市役所を起点としたまちなか周遊の主要な東西軸から、ふれあい通りとぶつかる角に若喜商店や笹屋旅館など、まちなかを代表する歴史的な建造物を有し、重要な役割がある商店街です。

『３』商店街の組合数と主な業種

	NO	店舗名	主な業種
仲町商店街振興組合	1	あいづ生活協同組合	日用品・食品小売業
	2	㈱オノデラ	食器類製造・卸小売業
	3	食事処福島屋	飲食業
	4	いわはし	化粧品・衣料品小売業
	5	（資）上野洋品店	洋品一般小売業
	6	中の越後屋醤油店	味噌醤油製造・小売業
	7	金田洋品店	化粧品・装飾品小売業
	8	（資）清川商店	清酒製造・小売業
	9	清水屋種苗園芸	種苗・農園芸資材小売
	10	（資）瀬野屋書店	書籍・文具小売業
	11	島慶園	茶卸・小売業
	12	宮下陶器店	陶器小売業
	13	マルヤ玩具店	玩具・人形小売業
	14	喫茶くら	喫茶店
	15	㈱裏磐梯五色沼ロッジ	旅館業
	16	アストモスガス㈱	LPG販売業
	17	（資）吉の川酒造	清酒製造・小売業
	18	㈱リオンドール	スーパーマーケット
	19	㈱レストラントレビ	飲食業
	20	さかいや生花店	生花小売業
	21	蔵美	飲食業
	22	蔵人	青果卸・小売業
	23	塩川屋	飲食・精肉店
	24	喜多方BAL	飲食店
	25	（有）五十嵐印刷	印刷業
	26	ネッツトヨタノヴェル	自動車販売業

	NO	店舗名	主な業種
しもなん活性化協同組合	1	㈱TIA	カメラ製品製造業
	2	（有）若喜商店	味噌醤油醸造業・小売業
	3	（有）江川本店	冷菓卸売業
	4	五十嵐商店	青果小売業
	5	川原田商店	雑貨卸・小売業
	6	イノウエ商店	鮮魚小売業
	7	武藤呉服店	呉服小売業
	8	物江社会保険労務士	社会保険労務士
	9	BAN-BOO美容	美容院
	10	㈱菊池鉄工所	鉄工業製造業
	11	㈱五十嵐製麺	麺類製造業
	12	市崎塗装本店	建設業（塗装工事業）
	13	五十嵐百吉商店	酒類食品小売業
	14	おおつか化粧品	化粧品小売業
	15	大竹鉄工所	製造業・農業機械販売修理業
	16	笹屋旅館	旅館
	17	焼き肉春楽苑	飲食店
	18	ツジルシ衣料店	衣料品小売業
	19	第二白虎写真館	写真現像焼付業
	20	鶴巻金物電器株式会社	家庭用機械器具小売業
	21	大安食堂	飲食店
	22	たんたんどる	パン製造小売業
	23	伊関電機株式会社	建設業（電気工事業）
	24	かねだや衣料	衣料品小売業
	25	佐藤電化サービス	家庭用機械器具小売業
	26	お菓子のヤマグチ	菓子製造小売業
	27	（有）会工社	不動産賃貸業
賛助	28	ラーメン香福	飲食店
	29	喜多方腎泌尿器クリニック	医療業
	30	喜多方あいあい薬局	薬局
	31	CIK	中古車販売

	NO	店舗名	主な業種
中央通り商店街振興組合	1	会津コレクション	民芸品
	2	（有）猪俣兄弟商店	鮮魚卸
	3	さがら	衣料品
	4	（有）大丸呉服店	呉服
	5	瑞兆	飲食
	6	（有）蔵見世	新聞販売業
	7	居酒屋　遊	飲食
	8	山時分店	衣料品
	9	ちか時計店	時計貴金属
	10	べるはぁと	介護福祉施設
	11	治田釣具店	釣り具
	12	（有）みつい生花店	生花
	13	（有）松本屋	文具書籍事務機
	14	（有）ほしこう衣服店	衣料品
	15	（有）かぶき薬店	医薬品・化粧品
	16	靴のコバヤシ	靴バック小売
	17	写真の小川	写真
	18	メガネのSATO	眼鏡小売
	19	喜っせ	飲食
	20	クレープ＆カフェくるくる	飲食
	21	樟山裕康事務所	土地家屋調査士
	22	結まーるプラザ	古物商・市民サロン

凡　例	
	日用品等小売店舗
	飲食店舗
	製造も行っている店舗
	宿泊施設
	来訪者向けでない販売・卸売店舗
	美容院・病院・福祉施設等
	専門事業所等

CHAPTER 1

「喜多方レトロ横丁」のこれまでといま

喜多方レトロ横丁の歴史とこれまでの活動

喜多方レトロ横丁の歴史

「喜多方レトロ横丁」は、『レトロ』をテーマに市内のメインストリートである「ふれあい通り商店街」を中心に、2005年の夏から開催されている歩行者天国イベントです。2020年までに計15回開催されており、その継続性と規模の観点からも、「喜多方夏祭り」と合わせて喜多方を代表するイベントの一つとなっています。

きっかけ

「喜多方レトロ横丁」は、福島県あいづデスティネーションキャンペーン（あいづ DC）の一環として、喜多方の魅力あるイベントを実施することで「あいづ DC」の取り組みを盛り上げようと計画されました。「ＪＲ あいづデスティネーションキャンペーン」特別委員会を結成し、「昭和30年代の縁日再現」・「喜多方菓子横丁（仮称）の開催」の二大事業が企画されました。

「あいづＤＣ」とは

2005年(平成17)年に、全国のJR6社と会津地方の21市町村と住民が連携して、3ヶ月間行われた観光キャンペーンで、このキャンペーンに先立って、会津地方の21の市町村は、「福島県あいづデスティネーションキャンペーン推進協議会」を設立し、喜多方では「喜多方観光協会」がこのイベントの喜多方担当となりました。

喜多方では、このキャンペーン中に喜多方で独自に何を行うかを話し合う場として、観光関連事業者など住民19名を含めた官民一体の「福島県会津デスティネーションキャンペーン喜多方地区推進委員会」を設立しました。

「あいづDC」の喜多方でのテーマは、「滞在時間の延長」に決定し、委員会を「観たい・遊びたい部会」/「食べたい部会」/「癒されたい部会」の3つの部会に分け、企画を進めました。

この「あいづDC」のキャンペーン期間中は、首都圏のJRの駅にはあいづDCの特大ポスターが貼られ、土日祝日には上野駅～会津若松・喜多方に「特急あいづ」が運行されるなど、大いに宣伝されました。

蔵と昭和の雰囲気を最大限に生かした喜多方レトロ横丁

当初のコンセプト

昭和30年代の縁日の再現

日本中が活気にあふれていた昭和30年代の昔懐かしい縁日を商店街で再現し、訪れた観光客や地域の方々に古き良き時代を体験してもらう。

喜多方菓子横丁（仮称）の開催

喜多方の菓子職人が作る地元ならではのお菓子などを、観光客に提供し味わってもらう。

盛り上がり

第1回目の「喜多方レトロ横丁」は、2日間の開催で約5.5万人の人出があり、その後第2回目は約12万人、第3回目は15万人と開催を重ねるごとに来客数は増加し、大規模イベントとして成長を続けていきました。

そして第四回目以降は、「蔵のまち喜多方夏祭り」のオープニングイベントとして、喜多方の夏を告げる地域イベントとして定着していきます。

喜多方レトロ横丁 これまでの主な活動

喜多方レトロ横丁は当初のコンセプトから、昭和30年代を題材にした企画が中心でしたが、回を重ねるにつれ次第に大正から昭和までをカバーするなど、様々な年代をイメージさせる企画が増えていき、幅広い「レトロ」をテーマにしたイベントとなりつつあります。

また「あいづＤＣ」と合わせて観光客を誘致するというスタートから、子ども向けの企画や参加型のショー企画など、地元の子どもたちや家族連れに向けて楽しんでもらうことをイメージした企画も増えています。

毎年恒例となった長寿な企画

想ひ出の七夕飾り
七夕飾りフリー短冊ゾーン
ゆかたで歩きま Show
頑固親父・お転婆娘の遊び塾
道路に落書きしちゃおう！
懐かしの巨大映画看板！
昭和レトロ MENU／学校給食＆昭和グルメ
福島民報社提供懐かし新聞記事プレゼント
レトロモーター Show
乗すたるじぃミニ SL／機関車／新幹線

メインステージ・参加型ショー系企画

爆笑!レトロ仮装行列
大道芸「ガマの油売り」石原コー
大道芸「バナナの叩き売り」石原コー
ちんどん屋 華乃家ショー＆練り歩き
昭和懐メロ歌謡ショー
ヤングビーツ テケテケ Show

第6回目あたりからのちびっこ系企画

ちびっ子広場ミニ消防カート
ちびっ子おもしろ自転車＆乗り物コーナー
フワフワ＆プールちびっこ広場
冷た～い足水コーナー

第10回目あたりから出てきた企画

子どもチャレンジランキング
地酒屋台「醸し家」
喜多方 SAKE 万国博覧会
レトロ DE ナイトフィーバー
真夏の決戦！SED 青空プロレス

その他市内外各団体による企画

喜多方ラーメン試食屋台
「味の横丁」
喜多方ちょうちん横丁
ザ・ゴールデンマーケット
喜多方商業高校(桐桜高校)物販ブース
テクノカレッジ／アカデミー会津ブース
喜多方六斎軽トラ市
昭和レトロ掘り出し市
喜多方手づくり市
手づくり市＆レトロのみの市

縁日系のノスタルジックな企画

諏訪神社御仮屋→御仮屋「レトロ神社」＆巨大鳥居
レト露店
昔懐かし楽し縁日ゾーン
懐菓子マーケット
駄菓子屋「ばんちゃ店」
昔懐かし「よろずや」
昔懐かし紙芝居
ドン菓子コーナー
昔懐かしの冷凍みかん販売コーナー

形を変えながら継続している企画

昔懐かし本格！お化け屋敷
懐かしの学校＆そろばんミュージアム

ミュージアム企画

昭和レトロミュージアム1号館・2号館
喜多方ラーメン神社＆ラーメンミュージアム
昔懐かしゲームミュージアム
発動機・あぐり(農具)ミュージアム
カメラ＆フォトミュージアム
レトロ図書館｜ブック・みゅーじっくミュージアム
手塚治虫ギャラリー＆ブックミュージアム
懐かしおもちゃミュージアム
金看板＆ホーロー看板ミュージアム
青空ミュージアム
春日八郎メモリアルブース
自転車ミュージアム
喜多方鉄道館日中線記念ミュージアム
日中線＆鉄道＆Ｎゲージミュージアム
映画看板＆ポスターミュージアム

ステージ企画

「レトロ仮装行列」
大道芸人「石原コー」氏によるパフォーマンス
伝統芸能やコンサートも盛ん

その他 これまで開催された企画

懐かしスロット Car 体験コーナー
レーシングカー展示コーナー
Always 三丁目の青春
名車完全復元「初代クラウン」特別展示
レトロボンネットバス展示
巨大迷路「昭和の迷宮大冒険」
シネマ広場 映画館→懐かし子どもアニメ塾

「喜多方レトロ横丁」の風景

毎回凝って作られるポスター

「ゆかたで歩きま Show」
：その場でプロの着付けやヘアーアレンジも受けられる、浴衣のレンタル企画。下駄の音色/風情ある雰囲気を創出。

レトロモーター Show
：昭和を駆け抜けた往年の名車、約100台が会場をパレード。

会場全体を彩る想ひ出の七夕飾り
：昭和期の夏祭りでも通りを彩った市民手づくりの七夕飾りを再現。夜の七夕飾りも幻想的。

映画看板＆ポスターミュージアム
：往年の名画やスターが描かれた巨大看板やポスター。レトロ横丁の象徴。

「喜多方ちょうちん横丁」/地酒屋
：提灯で飾りつけた屋台横丁で、日が暮れてからもっともにぎわうエリア。

ちんどん屋ショー
：太鼓をたたきながら練り歩き、レトロ横丁をにぎやかに盛り上げる。

乗すたるじぃミニ SL／機関車
：時計修販店を営む近秦照氏による「約100年前の石油発動機車を忠実に再現したミニ機関車」に乗れる人気企画。

金看板＆ホーロー看板ミュージアム
：あの頃、まちの至るところで見かけた貴重な看板がずらり。真っ青になりそうな年代物の金看板も。

「頑固親父・お転婆娘の遊び塾」
：ベーゴマや竹とんぼといった昭和の遊びや紙相撲・水鉄砲大会など体験・参加できる、遊べる企画として人気。

新たな展開を見せた企画　◇喜多方レトロ横丁の原点「ミュージアム」◇

～ミュージアムこそが喜多方レトロ横丁の原点であり，核となるイベント～

喜多方レトロ横丁第１回の「レトロミュージアム1号館」、その後第４～13回の「昭和レトロミュージアム」、第5～9回には「昭和レトロミュージアム2号館」が、「昭和30年代へタイムスリップ」のコンセプトのもと市民から昔懐かしい品物や収蔵品を事前に集めて、ふれあい通り内の空き店舗や空き蔵等を活用して展示するという、ミュージアム系企画の中心として誕生しました。

2008年4月からは、レトロ横丁期間中のみならず、ふれあい通りの一角で常設展示されるようになり、喜多方レトロ横丁のイベントが新たにまちなかの日常へと展開し始めました。

↓

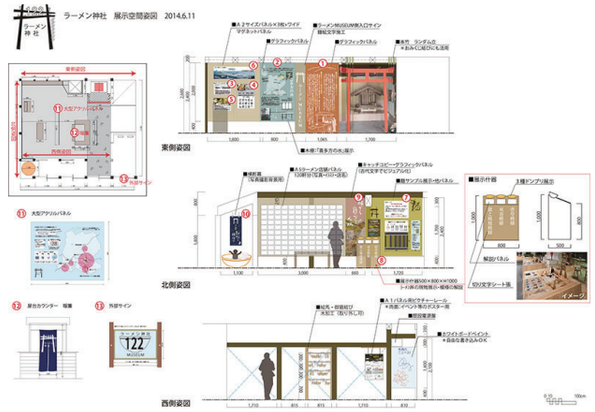
喜多方ラーメン神社＆ラーメンミュージアムの誕生

島三商店の蔵に設置されていた「昭和レトロミュージアム2号館」は、第10回開催年に「喜多方ラーメンにとことん特化した施設」として、屋根瓦や防火窓など重厚な外観を生かしながら、「喜多方ラーメン神社＆ラーメンミュージアム」に生まれ変わりオープンしました。

縁日に神社はかかせないものであり、レトロ横丁では第一回目から、会場に「諏訪神社おかりや」が建てられており、第二回目以降からは「市神社」「レトロ神社」と名前を変えながら「巨大鳥居」とともに第九回目まで設営され、巨大看板とともに、レトロ横丁のシンボルとなっていました。

この「喜多方ラーメン神社＆ラーメンミュージアム」では、昭和初期からの喜多方の発展を支えた喜多方ラーメンの歴史や美味しさの秘訣を紹介した資料展示を行うミュージアム機能とともに、これらシンボルを引き継いで、喜多方らしくラーメン丼を御神体に見立てた御仮屋（おかりや）や、ラーメンをすする割り箸をモチーフとした鳥居モニュメントが設置され、常設施設として喜多方観光の名所の一つとなりました。

＊2017年からは「グローバル倶楽部」により運営。2019年からは「ラーメン神社 / 暮らしの酒場なみなみ」として運営。



どんぶりが型どられた参道

市民自ら鉄釜で制作した、大人もすっぽり入れる巨大などんぶりも登場。

レトロ横丁商店街に向けた課題と可能性

これまでの喜多方レトロ横丁の取り組みからみえる課題と可能性

	喜多方レトロ横丁の取り組みの変化		求められる取り組み
1	観光客主軸→地元の人々へ /「まちなかの場」そのものを楽しむイベントに展開した「レトロ横丁」	→	イベント時のみでなく商店街として継承 祖父母・親・子どもたち ぞれぞれが楽しめる場

あいづ DC 関連の観光イベントとしてスタートした喜多方レトロ横丁も、回を重ねるにつれて「子どもチャレンジランキング」や「ちびっ子広場」等、観光客だけでなく地元の家族連れや子どもたちにもターゲットをおいた企画を展開しています。また「ちょうちん横丁」や「ザ・ゴールデンマーケット」など、みんなでワイワイまちなかを食べ歩いたり酒宴を楽しめる企画が充実し、昭和レトロのまちなみや懐かしいモノやコトを紹介するだけでなく、毎回新しく地域の資源を取り入れながら、レトロを作り上げていく取り組みに広がっています。

見学・体験しに訪れる観光客だけでなく、祖父母・親・子どもたちといった、様々な世代の地元の人々がレトロ横丁というイベントを通して、まちなかの場そのものを楽しむイベントとなりつつあり、それをイベント時だけでなく、レトロ横丁商店街としてどうつなげていけるかが要となっています。

2	昭和の頃の喜多方の資源への照射→まち全体の現在の資源を強化・ＰＲするイベントへ	→	まちなかの商店街として、周辺の場とのつながり・波及 まち全体の発信基地としての役割

また、喜多方レトロ横丁の当初の目的のひとつであった「魅力ある観光資源の再発掘」では、昭和の中頃に行われていた「七夕飾り」や「レトロ仮装行列」の復活、シネマ広場の映画館等の企画が発掘されましたが、併せて再度、酒やラーメンという喜多方を代表する資源に焦点をあてた「喜多方 SAKE 万国博覧会」や「喜多方ラーメン神社＆ラーメンミュージアム」の企画や、「六斎軽トラ市」などふれあい通りでのレトロに限らない、まち全体を盛り上げていく企画が充実してきており、今後も発信基地としての役割を担っていくことが求められます。

3	歩行者天国として道路空間の活用のみでなく、空き店舗や蔵を活用した企画の展開	→	観光客対象・イベント時のみでなく、地元の人も 通年レトロを体感する施設として商店街に定着

「昭和レトロミュージアム1・2号館」は、空き店舗を活用した企画として実施され、その後2号館は「喜多方ラーメン神社＆ラーメンミュージアム」の変遷を経て現在も継承されていますが、1号館は閉館。また懐かしの音楽とミラーボールの照明で昭和50年代の夜を体感できる「レトロDE ナイトフィーバー」も、第10回の開催から登場するなど、イベント時においては蔵や空き店舗を活用する企画が展開されています。一方で観光客がふらっと立ち寄る施設としては価値があるものの、地元の人が何度も楽しめる、通年レトロを味わうことができる施設としてどのように商店街に定着させ、取り入れていくのかが課題となっています。

4	「永遠の昭和ノスタルジー」を掲げ、レトロに焦点をあてたイベントとしての特異性	→	「レトロ」の解釈のさらなる発展 「レトロ」を掲げる商店街としてのまとまりづくり

ある世代には懐かしいと感じるものも若者世代には珍しいに変わるなど、年代によって感じるレトロはさまざまで、昭和生まれの世代も平成以降に生まれた世代もともに感じる「レトロ」はなんなのか、また喜多方レトロ横丁が掲げる「永遠の昭和ノスタルジー」のみでなく、ふれあい通りの建築物と同様に明治大正も含んだレトロや、各年代層の個人的な懐かしさを超えたものとしての「レトロ」を、今後も発掘していきます。

ふれあい通り商店街の特徴からみえる課題と可能性

	ふれあい通り商店街のポテンシャルと課題		求められる取り組み
1	蔵のまちとして認知度が高く、散策にも適しているがラーメンのついで観光が多く、滞在時間が短い	→	「レトロ横丁商店街」として、観光客、地元客が ここを目的に訪れる場づくり

令和元年の観光入込客数は約2,375 千人で、喜多方市街が最も多く約1,077 千人となっています。祭事・イベントでは、「喜多方レトロ横丁」が最も多く「蔵のまち喜多方夏まつり」の倍の約12万人の人出があるなど、まちなかと「喜多方レトロ横丁」は、喜多方の観光の大きな軸となっています。

ただ、喜多方市街の観光客は圧倒的にラーメン目的の日帰り客が多いため、滞在時間が短く消費単価が低いということが、以前より大きな課題となっています。「喜多方レトロ横丁」のイベントの大きな人気は、地元色の強い夏祭りと比べて、市外の人も同じく共感できる「レトロ」にあり、商店街としてそれを日常的に体感でき、かつ商売としても継続できるものにしていくことが望まれます。

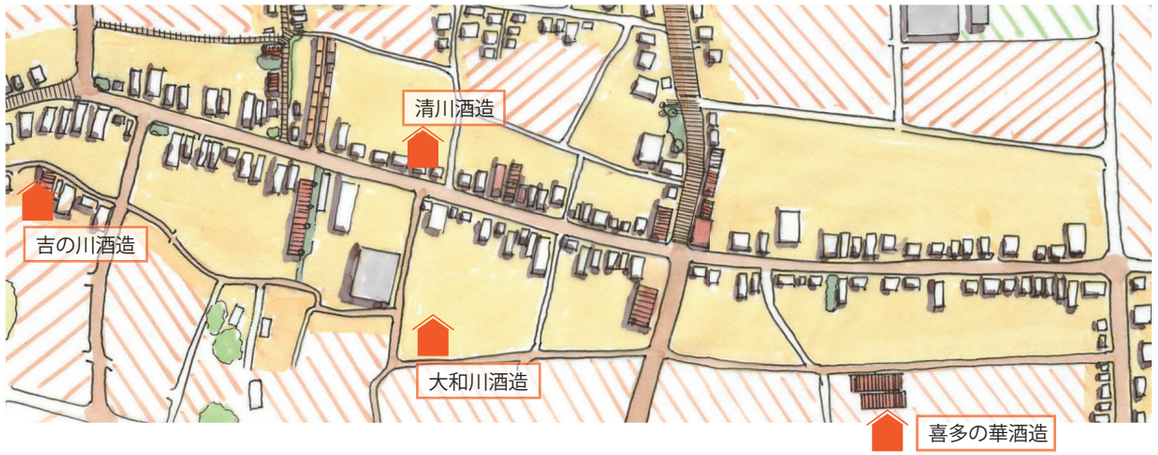
観光項目	調査集計地点	H31（R元）計
自然	御殿場公園	13,957
歴史・文化	**喜多方市街**	**1,077,608**
歴史・文化	飯豊とそばの里センター	25,514
ｽﾎﾟｰﾂ･ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ	三ノ倉スキー場	151,465
温泉・健康	熱塩温泉	27,604
温泉・健康	いいでのゆ	32,841
温泉・健康	ふれあいランド高郷	48,575
その他	ふれあいパーク喜多の郷	383,525
行祭事・イベント	蔵のまち喜多方夏まつり	60,000
行祭事・イベント	蔵のまち喜多方冬まつり	37,000
行祭事・イベント	ひめさゆり祭り	29,600
行祭事・イベント	花しょうぶまつり	10,530
行祭事・イベント	駒方神社祭礼	7,200
行祭事・イベント	川の祭典花火大会	90,000
行祭事・イベント	バルーンフェスティバル	13,000
行祭事・イベント	喜多方**レトロ横丁**	**120,000**
歴史・文化	新宮熊野神社長床	45,517
自然	日中線記念自転車歩行者道しだれ桜並木道	201,000

2	酒蔵がまちなかに点在＋風情ある夜間景観＋宿泊施設は２軒。民泊の活用も検討。	→	宿泊を伴う取り組みや施設の運営を 「レトロ横丁商店街」全体で展開

ふれあい通り商店街の中にも「吉の川酒造」と「清川商店」を有し、ひとつ西の通りの歴史的みちすじ沿いには「喜多の華酒造」「大和川酒造」と、酒蔵がまちなかに点在しており観光資源になっています。

また、歩車道整備に合わせて設置された街路灯により、ふれあい通りの夜間景観はとても趣きのあるものとなっており、夜のにぎわいも期待できる環境といえます。ふれあい通りには「笹屋旅館」と「喜多方グリーンホテル」の２つの宿泊施設があり、まちなか散策＋酒＋宿泊を提供できる良好な環境が整っています。

さらには2018年6月には民泊新法が施行され、民泊のプラットフォームも整備されつつあるいま、宿泊を伴う取り組みや施設の運営を、商店街というまちぐるみで展開していくことを目指していくべきだと考えられます。

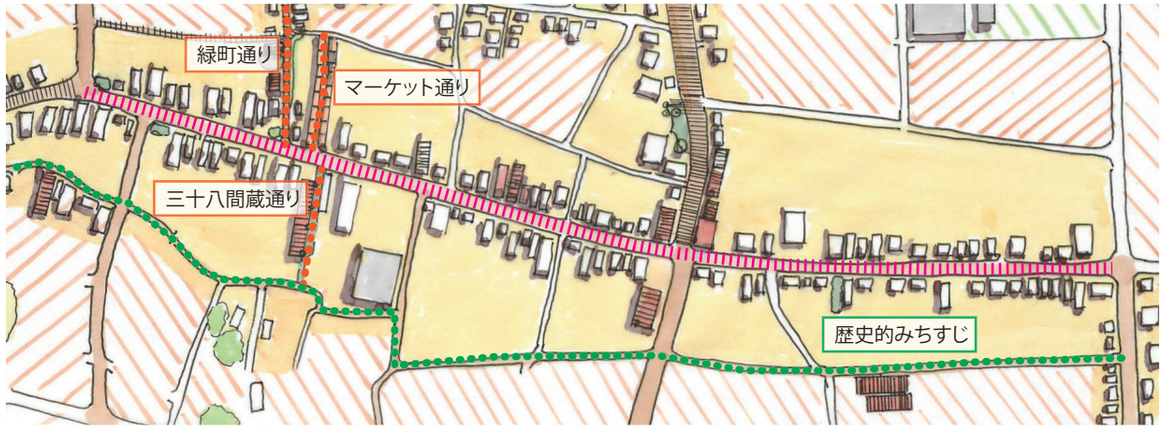


3 周辺のよこみちに魅力的な要素が満載だが、空き店舗空き地化も多い。いかに波及させるか → 「よこみち」の魅力を生かした、まちなかの周遊を楽しめる環境づくり

ふれあい通りは、歩車道整備に合わせた修景の取り組みの効果もあり、空き店舗は当初と比べると減少しましたが、全国の地方都市でみられるように、人口減少・少子高齢化・後継ぎ問題の影響は大きく、空き店舗は今後も増えていくと考えられます。一方でまちなかへの出店希望者は増加しつつあり、新規出店も見られるなど可能性のあるエリアでもあります。

また、ふれあい通り周辺には、緑町～月見橋～小田付を結ぶ魅力的な「よこみち」や、昭和レトロが色濃く残っているマーケット通り、喜多方の蔵の象徴ともいえる三十八間蔵前のポケットパーク的整備など、魅力的な空間があり、これら通りとの回遊性を高めていくことが求められています。特によこみち沿いでは、ふれあい通りよりも顕著に空き家・空き蔵の増加による賑わいの消失や、取り壊される蔵や古民家の増加、駐車場、空き地が点在しており、早急な対応が求められています。

ふれあい通りには飲食店や小売店が多くみられる一方で、まちなかで家族連れの観光客が休憩したり、子どもが遊べるオープンな空間がないといった課題も見られることから、よこみち・周辺の資源の魅力やまちなかを巡る既存の取り組み等とも連携しながら、「レトロ横丁商店街」を基点として、いかにまちなかの周遊を楽しめるかの環境づくりが望まれます。



まちなかを巡る既存の取り組み事例１
：古代文字ミステリーウォーク

まちなかを巡る既存の取り組み事例１
：地酒秘蔵ツーリズム

CHAPTER 2

「レトロ横丁商店街」に向けて

新愛称「レトロ横丁商店街」/ ロゴマーク

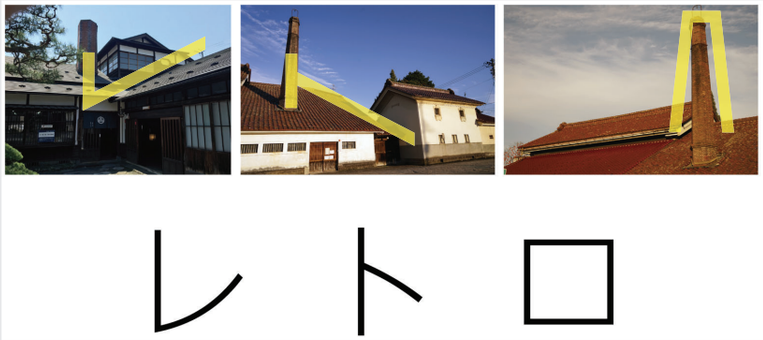
ロゴマークの考え方

「レトロ」=懐古調ではなく、いまから取り組んでいく新しいまちづくりに活用できることを踏まえ、時代性を加味したモダンなデザインで表しました。

「レトロ」の文字の組み合わせで、蔵やレトロな商店街が建ち並ぶ風景を表し、懐かしくも新しい、喜多方の商店街のクリエイティブなイメージを感じられるロゴマークです。

楽篆家 高橋政巳の書「レトロ横丁商店街」と組み合わせて、活用場面に合わせて展開します。

蔵の屋根と酒蔵の煙突が印象的な商店街の街並みを「レトロ」の文字を使って表現



新ロゴマーク

ポイント

- 街並みを表現しているので、商店街に適している
- 「レトロ」の文字も、一見『絵』に見えるが、よく見ると『レ・ト・ロ』と読めるので、発見した時/説明する時のおもしろさがある=コミュニケーションが生まれる
- シンプルなデザインなので、アーティスティックな【レトロ横丁商店街】の書とも相性が良い
- いろいろなグッズや、カフェなどの飲食関連にも展開しやすい

活用する対象に応じたロゴ展開イメージ（例）

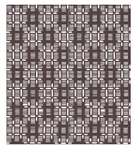
これまでイベント時に使われていたのぼり旗

背景に会津型をとりいれたアレンジ（例）

会津型：亀唐草

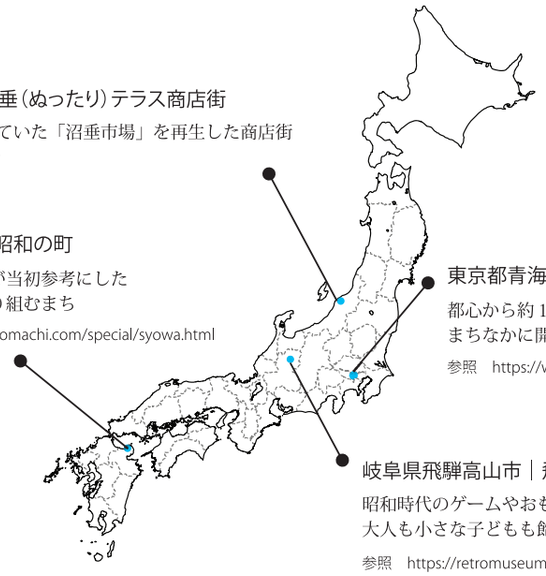
会津型：萩

会津型：割付



会津型：変形格子

全国にみられる「レトロ」なまちづくり事例



新潟県新潟市｜沼垂（ぬったり）テラス商店街

シャッター街と化していた「沼垂市場」を再生した商店街

参照　https://nuttari.jp/

大分県豊後高田市｜昭和の町

「喜多方レトロ横丁」が当初参考にした
昭和のまちづくりに取り組むまち

参照　https://www.showanomachi.com/special/syowa.html

東京都青海市｜昭和レトロ商品博物館/アキテンポ不動産

都心から約１時間の歴史あるまち。
まちなかに開業者を呼び込む！アキテンポ不動産の取組みも

参照　https://www.omekanko.gr.jp/spot/01901/　http://life-ome.com/

岐阜県飛騨高山市｜飛騨高山レトロミュージアム

昭和時代のゲームやおもちゃを実際に触って遊ぶ事ができ、
大人も小さな子どもも飽きることなく、長い時間楽しめる施設

参照　https://retromuseum.blog/e1102894.html

大分県豊後高田市｜昭和の町

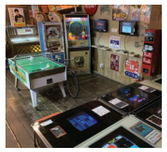
きっかけ	豊後高田市の中心商店街は、江戸時代から明治・大正・昭和30年代にかけて、国東半島でもっとも栄えた町でしたが、多くの商店街と同じく寂しいまちに。 まちの衰退に危機感を抱いた商店街や豊後高田商工会議所の有志が中心となり、「豊後高田商業まちづくり委員会」を立ち上げ、元気だった昭和30年代の活気を蘇らせようと、平成13年（2001）にはじめたのが「昭和の町」の取組み。 当初7店舗からスタートした昭和の町認定店は44店舗に増え、年間約40万人の来訪者を迎える。
キーワード	① 昭和の「建築再生」　：修景事業により当時の趣を再現 ② 昭和の「歴史再生 一店一宝」：商店に残る歴史物を一店一宝として展示 ③ 昭和の「商品再生 一店一品」：自慢の昭和の商品を一店一品として販売 ④ 昭和の「商人再生」　：昭和 30 年代と変わらないもてなし
特徴的な取り組み	・「昭和30年代」を懐古する人々のニーズを徹底したマーケティングにより発掘。ハード整備ではなく「何を売り物にするか」ということに主眼を置いて展開し、その後のハード整備につながる。 ・農業倉庫を拠点施設「昭和ロマン蔵」として整備（2002.10） 　オート三輪車、紙芝居、教室展示や駄菓子屋、絵本美術館 等 ・飲食施設「南蔵」オープン（2006.4） ・ボンネットバスでのまちなか周遊（土日祝） ・「昭和の町で昭和の体験」プログラム：レトロファッション体験 等 ・観光客向け店舗と定住消費者向け店舗とのギャップの解消が課題

昭和ロマン蔵

ボンネットバスでまちなか周遊

岐阜県飛騨高山市｜飛騨高山レトロミュージアム

きっかけ	歴史的な古い町並みで人気の飛騨高山で、展示量の多さとそのクオリティの高さで人気がある「高山昭和館」に次いで、子どもたちが遊びながらおじいちゃんおばあちゃんの時代を学んでほしいという思いから、体験型に特化した昭和館としてオープン。家族連れや若いカップルの来訪が多い。
キーワード	★一人で来ても全く面白くない 　観るだけの1人より、玩具やゲームなど複数人や家族で来ると一緒に遊んだり体験したり楽しむことができる。家族や友達と一緒に来ることを誘導。 ★幅広い世代の方が楽しめる 　それぞれの世代で楽しめる多様な体験メニュー。
特徴的な取り組み	・無料レトロゲームと有料レトロゲームなど、無料と有料を用意したり、レトロなパチンココーナー等多彩に用意することで、多様な客層を取り込むことができる。 ・昭和の遊戯機器では、実際に綿菓子作りにチャレンジしたり、大人もはまる日本最古のUFOキャッチャー等、見るだけでなく実際に遊べることを重視。 ・誕生日新聞など、生まれた日の新聞を実際に印刷でき記念のお土産に大人気！



新潟県新潟市｜沼垂テラス商店街

きっかけ	古くから港町として栄え、たくさんの店舗が立ち並ぶ「沼垂市場」として活気に満ちていたが、高齢化や大型スーパーの影響でシャッター街と化していた。 元々堀を埋め立てられて作られた「市（いち）」のため、ヒューマンスケールを求める時代のニーズとマッチし、平成22年(2010)の飲食店や陶芸工房のオープンを契機に若者の注目が集まり、2015年春には旧沼垂市場のすべての長屋が店舗として開業。このタイミングで「沼垂市場通り」と呼ばれていた場所を『沼垂テラス商店街』と命名し、昭和レトロな街並みを残しつつ新しく再生。
キーワード	★若者による積極的な店舗出店 　多種多様な店舗が営業していることが大きな魅力 ★長屋を利用したレトロな商店街 　外観はそのままに、内装がそれぞれの店舗で個性的で人気
特徴的な取り組み	・「きもの姿で沼垂まちあるき」 　着物姿で商店街を歩いてもらおうという企画。(有料の着付けサポートつき) 　浴衣を着て商店街で買い物をすると、商品がお得に購入できる特典付き。 ・「沼垂テラス商店街スタンプラリー」 　商店街で一定の金額の買い物をするとスタンプを付与。 　3つためると、商品がもらえる。 ・商店街を歩いてもらうための取り組みが多彩 ・大きな改修などを行わなくても、若い年代のニーズにマッチし劇的に再生 ・ひとつひとつ小さいテナントなので賃料も安く、若者が出店しやすい

見て楽しい充実したホームページ

東京都青梅市｜昭和レトロ商品博物館/アキテンポ不動産

きっかけ	・江戸時代、新宿から甲府（山梨県）までをつなぐ青梅街道の宿場町として発達し、旧青梅街道沿いには古い造り商家が多く残り、いちはやくレトロなまちづくりに取り組み「昭和レトロ発祥の地」といえる。 「昭和レトロ商品博物館」は、家具屋だった商店街の空き店舗を活用した施設で、1999年にオープン。同じく旧青梅街道の一部は「シネマチックロード」と名付けられ懐かしい映画看板が沢山飾られている。 ▼ ・しかしそれでも、町屋・店蔵など歴史をもつ街並みの各商店街の店主の高齢化や後継者がいないことが調査により発覚。今後、空き店舗が増えるという危機感から対策事業として2018年「アキテンポ不動産」が発足。 事業開始からの4年間で28軒の店舗やオフィスを開業させる成果。
キーワード	・「青梅宿アートフェスティバル」など、JR青梅駅前から旧青梅街道を通り、東青梅駅にいたるまで、まち全体で「昭和レトロ」なイベントを開催するほど、昭和レトロなまちは根付いている。 ▼ ・歴史的なまちだからこそ、歴史も古く立派な建物も多い。 ・物件確保のために地道な調査と交渉 ・このまちで起業したいと思ってもらえる環境づくり
特徴的な取り組み	・博物館では、都心から近く来訪者も多いため、レトロな雰囲気を味わいながら食事ができるレストランを併設。 【アキテンポ不動産】 ・物件オーナーと借り手の相性を重視したマッチング。 　オーナーの理解を得るために時間をかけた丁寧な対話と、借り手には空き店舗がかつて何のお店で、オーナーの開業経緯や思い出などを伝え、双方が心地良い仲介を目指す。 ・空き店舗ギャラリーの開設：物件の図や、文庫本風の紹介リーフレットを設置し、建物が長い時間をかけて培った歴史や雰囲気等、物件情報を伝えている。 ・空き店舗ツアーの開催：参加者に物件を見てもらうだけでなく、路地裏の散策やカフェに寄るなど、まちのことも知ってもらう。 ・専門人材の活用：アキテンポ不動産の実施にあたり、一級建築士にアドバイザーとして入ってもらう。

昭和レトロ商品博物館

日本最後の映画看板師/久保板観の作品
（青梅市出身）

株式会社まちづくり青梅による発信
http://life-ome.com/

←アキテンポ不動産の仲介で開業した店舗
左：「サイクルハーバー青梅」
　　自転車預かり/レンタルサイクル/カフェ
　　/コインシャワーなどのサービス
右：「ブックカフェ」

「レトロ横丁商店街」コンセプトと基本的戦略

基本コンセプト

レトロを生かし レトロを創る

蔵をはじめとして、明治・大正・昭和と歴史ある建物が多く残る個性的なまちなみ
古きよき建物や貴重なモノを残していけるよう、「レトロ」をテーマに新しく珍しいモノ・コトを創る

レトロ横丁商店街中長期ビジョンの目標

「レトロ」を核として、各々の商店の魅力アップ
「喜多方レトロ横丁」を日常的に楽しめる場づくり
まち全体の発信基地となる「レトロ横丁商店街」

基本方針	基本的戦略
昭和レトロの域をこえた 新たなレトロの創生	「レトロ」のブランドイメージづくり 体験型「レトロ」のすすめ
知りたくなる・行きたくなる ・自慢したくなる商店街	プロモーション活動の推進 知られざる蔵のなかのレトロ発信
暮らしの場として 愛される商店街	「レトロ」なもてなし拠点づくり 通いたくなる商店街づくり

CHAPTER 3

これからのアクション

「レトロ横丁商店街」具体的施策

基本方針に基づいたそれぞれ２つの戦略について、今後取り組むべき具体的施策（基本事業）を提示します。そのうち、「ふれあい通り商店街」から「レトロ横丁商店街」に愛称変更とともに、2021～2025年の5年間に実施していくべき事業を『スタートアップ事業』、そこからさらに5年後の2026～2030年までに、じっくり力をいれて重点的に進めていく事業を『パワーアップ事業』として設定し、具体的なイメージが持てるように、企画プラン・展開プランとして、主なターゲットや具体的な実施内容を整理しています。

基本方針	基本的戦略
昭和レトロの域をこえた 新たなレトロの創生	「レトロ」のブランドイメージづくり 体験型「レトロ」のすすめ
知りたくなる・行きたくなる ・自慢したくなる商店街	プロモーション活動の推進 知られざる蔵のなかのレトロ発信
暮らしの場として 愛される商店街	「レトロ」なもてなし拠点づくり 通いたくなる商店街づくり

RETRO YOKOCHO SHOTENGAI

レトロ横丁商店街

基本事業

■ スタートアップ事業　■パワーアップ事業

1.「レトロ横丁商店街」タグ商品事業

「レトロ横丁商店街」としてすぐに始められる事業として、新しくデザインしたロゴ入りの共通タグを、各商店がいまある中で「レトロ」な商品としておすすめのものに付け、商店街全体と「レトロ」でリンクしていきます。

2.「レトロ横丁商店街」おせっ会

タグ商品事業で各商店がタグをつける商品を、「これは珍しい！」「これは目についたら買っちゃう」という商品を、違う店舗の人たちがおせっかいに言い合って、新たに発掘していきます。

3.昭和特撮スタジオ事業

「レトロ横丁商店街」では、レトロなまちなみやモノを見たり消費したりするだけでなく、創造する楽しみを提供します。最新の技術と貴重な怪獣などレトロなモノを組み合わせ、作品づくりを楽しめるスタジオをつくります。

4.ラジコン四駆レーススタジオ事業

30代40代の親世代の子ども時代に人気を博したラジコンが、自分の子どもたちとともに楽しめるものとして復活しています。親子そろって楽しめるレトロとして、三十八間蔵前のスペースの活用やレーススタジオを企画します。

5.レトロまちなみづくり事業

整然とした古い町並みではなく、多様な時代の装飾や色彩を採用しながら修景をすすめるとともに、小さなスペースにも休憩できるスペースやデザイン的な工夫をして、活気ある「レトロ」なまちなみづくりにつなげます。

1.「レトロ横丁商店街」インターネットサイトの充実

旅行者に求められる多様で最新の観光情報と提供するとともに、各商店の新しい商品など市民にとっても日々のぞく楽しみのあるサイトの構築と更新を実施します。

2.「レトロ横丁商店街」サイン事業

「レトロ横丁商店街」の街路灯へのプレートサインだけでなく、軒下にレトロサインを飾ったり、街角サインで一歩入ったよこみちやうら通りもおすすめし、楽しく回遊できるまちづくりを目指します。

3.レトロ自転車事業

レトロな自転車のレンタルや、サイクリストが自由に整備できる工房などを設置したり、レトロな撮影ポイントを紹介するなど、レトロ横丁商店街を起点として周遊を促します。

4.テナントミックスプロジェクト

個々では更新できない空き店舗を、改修支援することを条件に地域のニーズにマッチする店を公募によって選定し、数軒セットにして再生することで、集客力のある魅力的な店舗の確保とインパクトある再生を進めます。

1.蔵の中持ち出しレトロ市場

工房で古いものをプリコラージュして創作したものや、見せるだけでなくコレクターなどに売ることもできるモノを調達し、レトロオークションを開催するなど、市場の様に活気あるミュージアムを展開します。

2.職人のまち 工房プロジェクト

職人のまちであるしもなん地区に、その特徴を生かして本格的な工作機械から、ミシンや３Dプリンターなど大小様々な工具が自由に使えるコワーキング工房を設け、職人の方々と新たなレトロな商品の製作や修理を受け付けます。

3.冬の雪まちを楽しむ特別メニューづくり

雪の時期でも歩きやすくなった商店街で、子どもたちの冬の遊び場づくりと雪国特有の冬の魅力を積極的に提供することで、一年を通じた商店街の良さの紹介と冬の来訪を促します。

4.空き店舗コーディネートプロジェクト

歴史あるまちだからこそ課題が多い空き店舗空き蔵を解消していくために、「レトロ横丁商店街」全体で管理し新規出店者につなげる取り組みを進めます。-

2021-2025｜スタートアップ事業企画プラン

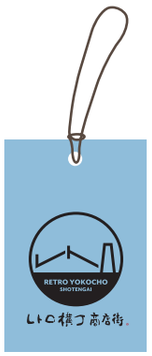
1.「レトロ横丁商店街」タグ商品事業

「レトロ横丁商店街」としてすぐに始められる事業として、新しくデザインしたロゴ入りの共通タグを制作し、各商店がいまある商品の中で「レトロ」な商品としておすすめのものに付け、商店街全体と「レトロ」でリンクすることで、”どんなレトロタグ商品があるかな？”と、見て歩くだけでも楽しい商店街をつくります。

レトロ横丁商店街共通タグ

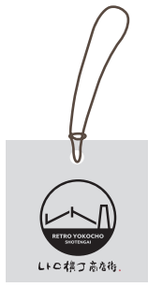
商品の値段ごとにタグを色分け

￥1000



￥500

￥300

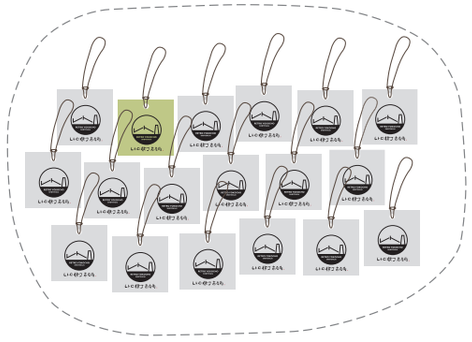


￥100

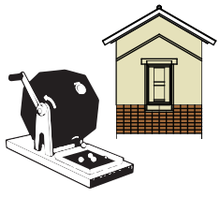
いろいろな店を周りながら、タグを￥2000分集めると・・・

＊「レトロ横丁商店街」の名称の定着+ロゴのＰＲ
＊いろいろな店を周ってもらう仕組みで回遊性を促す
＊何度も足を運んでもらう
＊かわいいタグで集める楽しさ

＊子どもたちの体験学習
　￥2000でどんな組み合わせで買い物できるかな？
＊お年寄りのゲーム感覚・外に出て歩く日々の楽しみ



￥2000分のタグで抽選ができる！



イベントで行っていたような景品（日本酒や塩川牛など）が当たる取り組みが、イベント時だけでなく通常時も開催。

＊会場はレトロ横丁商店街の拠点ができるまで、各商店が月替わりで担当するなど、柔軟に対応

景品例

レトロ横丁商店街
オリジナルグッズ

ソフトクリームや
クレープ券

お花セット

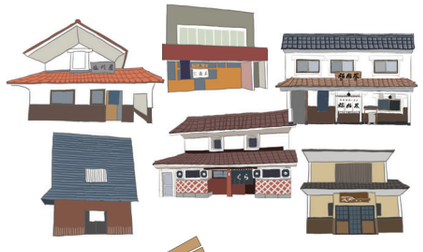
駄菓子詰合わせ

ラーメン券

例えばこんな商品を･･･

￥1000

季節のミニ花束
：週替わりで花を飾る楽しみを創出



割りばしにタグ

レトロ横丁特別メニュー
：ランチに出かける回数を増やす

￥500

かわいいお茶缶
：タグ付で表に並べられることで、
若い女性客の目をひく

￥300

レトロ横丁ロゴ焼印入りパン
：焼印を押すだけで特別感

今ある商品も
タグをつけるだけで
目にとまりやすい！

￥100

花一輪
：一輪だけでも買いやすい雰囲気-
花屋に立ち寄る習慣づくり

ちょっとだけ買いやすい量り売りの導入【古い売り方で新しいものを売る！】

かわいい紙の袋でエコも

お菓子/味噌や米・酒も量り売り

：子どもたちにも買う楽しさ
：一人暮らしの高齢者にも少量で買いやすい
：選ぶこと自体が楽しい

＋

子どもたち
遠足がてら
歳見学とセットで
選べる楽しみ！

観光客
地元のものを少しずつ
欲しい分だけ
米やみそなども、
気軽に試せる！

一人暮らしの老人
少人数の家族
日常の買い物
コミュニケーション
何があるかな・
立ち寄る楽しみ！

2.「レトロ横丁商店街」おせっ会

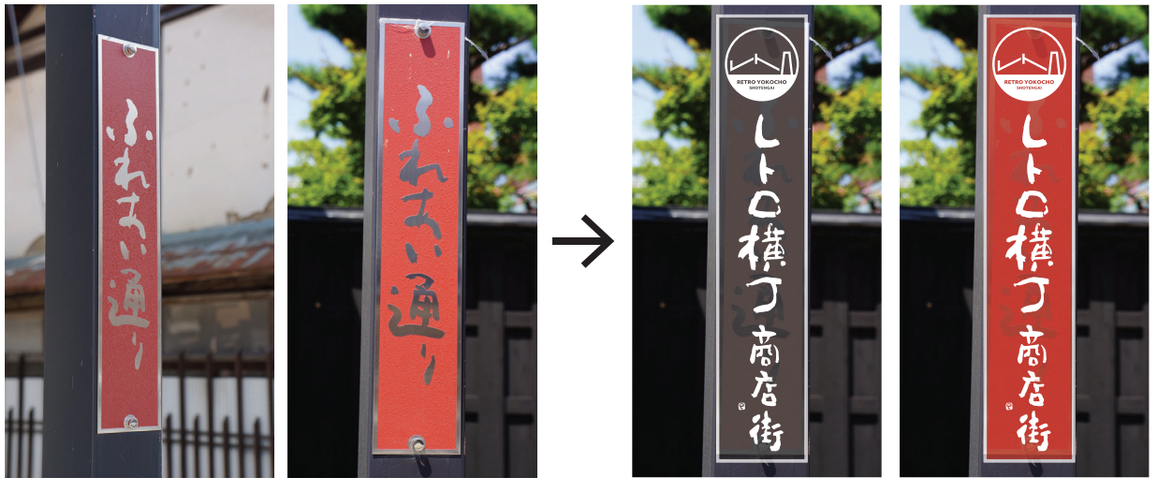
20代/30代/40代/50代/60代/70代～と思う”レトロ”はそれぞれ違います。

タグ商品事業で各商店がタグをつける商品を、
「これは珍しい！」「これは目についたら買っちゃうのに！」
「こんな商品を仕入れては？」「これがあったらいいのに！」
という具合に、いろんな年代・いろんな立場の人たちが、おせっかいに言い合って、新たに発掘していきます。

3.「レトロ横丁商店街」サイン事業

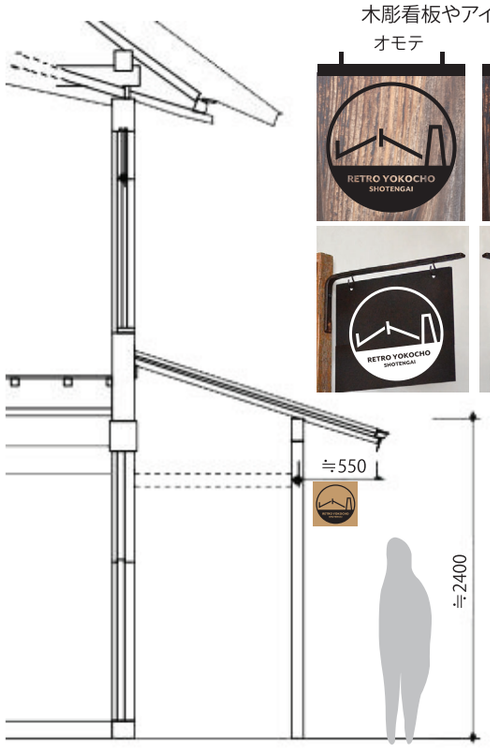
「レトロ横丁商店街」の街路灯へのプレートサインだけでなく、軒下にレトロサインを飾ったり、街角サインで一歩入ったよこみちやうら通りもおすすめし、楽しく回遊できるまちづくりを目指します。

①街路灯銘板サインの改修



②軒下レトロサイン

通りを歩きながら目に入りやすい軒下に、表は「レトロ横丁商店街」のロゴサイン、裏に各商店が何屋さんなのかひと目でわかる商品サインなど、どちらから歩いてきても見て楽しいサインを飾っていき、通り全体で盛り上げていきます。



木彫看板やアイアンサイン

軒下サインイメージ

③よこみち街角サイン

商店街のメイン通りから一歩入った通りも喜多方のレトロな雰囲気のある魅力的なエリアです。それぞれの通りに誘導しながら、まちなか全体の回遊性を高めていきます。

それぞれの通りには、「レトロ横丁商店街」のように通り名の通称をつけ、情報サインというよりも「なんだろうな？」「この通りに行ってみようかな」と気を誘うような、オブジェクト的な機能を担います。

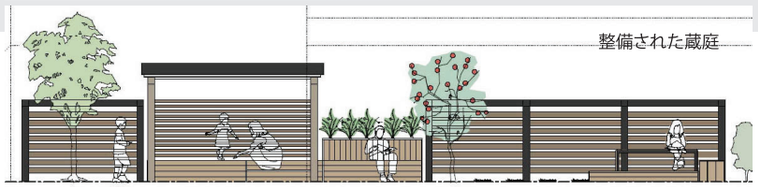
通り名とオブジェクトサインのイメージ

4. レトロ自転車事業

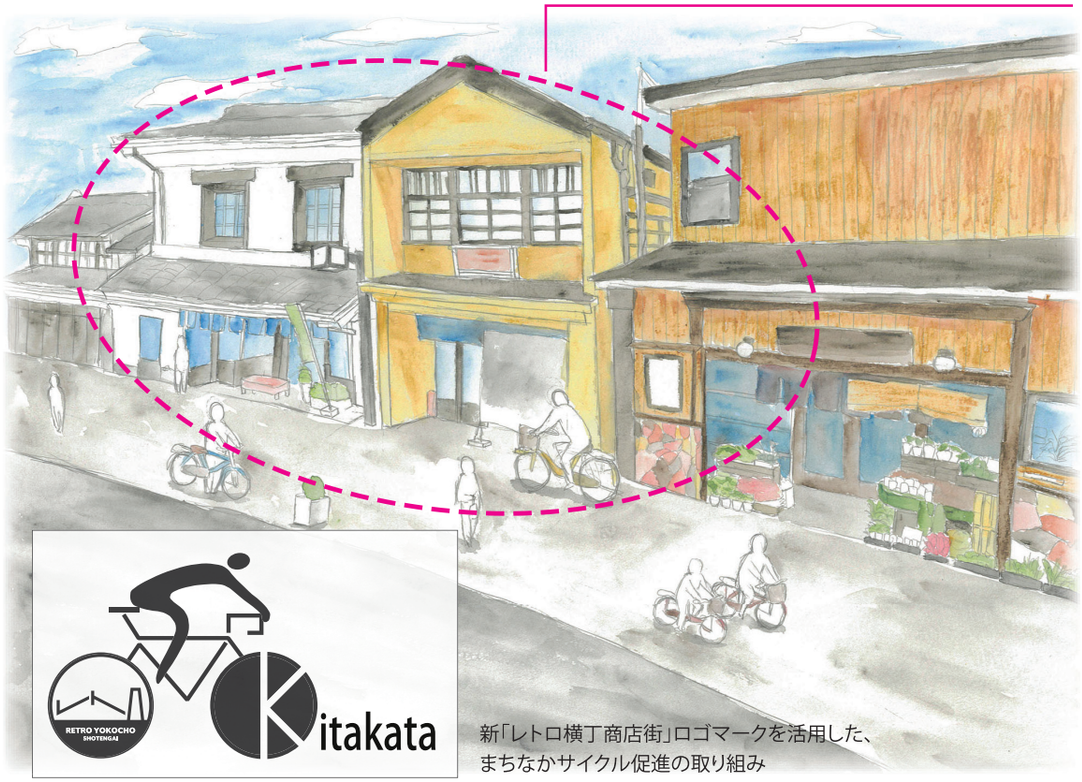
駅からのレンタサイクル等の取り組みと連携しながら、レトロ横丁商店街らしいレトロな自転車のレンタルや、自転車屋さんだった場所を生かして、機械や工具を提供することで、サイクリストが自由に整備できる工房として、来訪者にオープンなスペースを設置したり、レンタサイクルのみでなく、レトロな撮影ポイントを紹介するなどのソフトな取り組みとともに、レトロ横丁商店街を起点として周遊を促します。

例えばここで・・・

レトロ横丁商店街に唯一の自転車屋さん「富樫サイクル」は、サイクル好きにはたまらない、いまでは貴重な看板を有するレトロな雰囲気を持っています。また隣にはしもなん地区に初めての「蔵庭」が整備され、東屋など休憩スペースがあり、その奥には近年オープンしたケーキ屋さんや喜多の華酒造があり、人の集まる場所として一体的に活用を図ります。
に位置することもあり、周辺と一体的な活用が望まれます。



修景されたまちなみでのレトロな撮影スポット紹介!



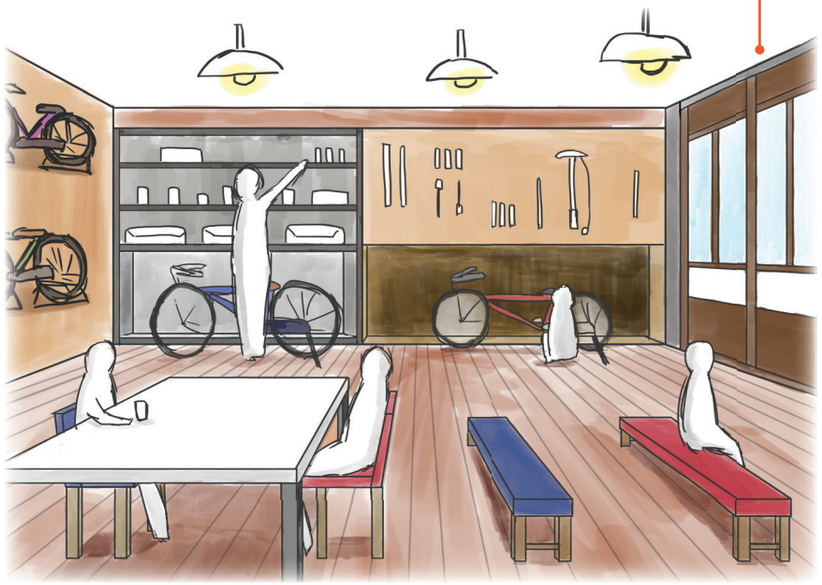
新「レトロ横丁商店街」ロゴマークを活用した、
まちなかサイクル促進の取り組み

タンデム自転車

門司港レトロ:西日本新聞

見ているだけでまちなかに彩りを与えてくれるレトロな自転車や、話をしながら走ることができる、2人乗り専用の「タンデム自転車」などレトロなまちなかを楽しむためレンタサイクルの導入

工具類が揃い、サイクリストが自由にメンテナンスできるサイクル工房スペース。休憩スペースが併設され、地域の人も気軽に利用できる。
オリジナルサイクルグッズやレンタル料金で運営費を創出。



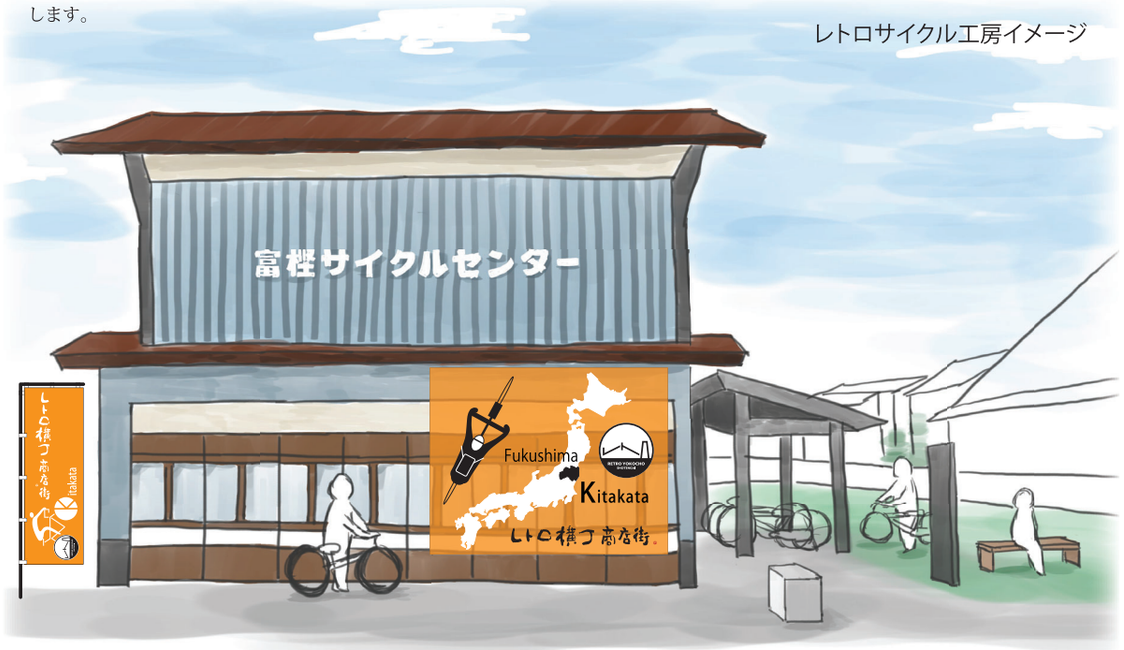
地域に交流・活性をもたらす仕組み

・しもなん地区は、病院やアパートなど比較的大きな施設があり、また工場や事務所的利用の建物も多くみられるため、通り沿いは、殺風景な印象となりやすい。カフェ等の飲食施設はむずかしいエリアであるが、職人のまちのテイストを生かし、オープンな開口を設けたラウンジ・工房・ギャラリー スペースなど、ふらっと立ち寄りやすく、立ち寄りついでに会話が生まれる交流空間を挿入します。

住民の利用・日常的な賑わい

・隣接する蔵庭には東屋があり、また彫刻やベンチも設置されています。サイクリストもまちなかで休憩しやすいスペースとして通りから奥も活用しながら、にぎわう広場を目指します。
・まちなかに様々な機能スペース・拠点があることで、常に人の気配があるまちをつくります。

レトロサイクル工房イメージ



2026-2030｜パワーアップ事業展開プラン

1.昭和特撮スタジオ事業

若喜商店昭和館の古い蔵のお店にところせましと並ぶ、子どもの頃に遊んだ懐かしいおもちゃやお菓子は、レトロ横丁商店街を代表する店舗です。店内の秘密基地のような中２階に展示されている、昭和のプラモデルやヒーローもののフィギュアもお父さん世代もその子どもたちにも大人気です。

CGや３Dといった新しい技術や方法が台頭してきたいま、子どもたちの間では、ゴジラを始めとする『特撮』というジャンルの、長い年月をかけて積み上げられてきた表現が人気です。

ただレトロなまちなみやモノを見たり消費したりするだけでなく、創造する楽しみ・感動を与えてくれるそのような表現を自分たちでも体験できるスタジオをつくります。

例えばここで･･･

昔本屋だった、がらんどうの広い空間を生かした制作スタジオ。
子どもたちが熱中する場があれば、お母さんたちも集まる。
クレープやさんやカフェでひと時を過ごすことができる。

レタリング・ポスター制作

映画の題字・ポスターづくり。
昭和怪獣映画をお手本に、
自作映画のタイトルやポスターを制作。

対戦コーナー

昭和館で購入したりレンタルしたり。
怪獣フィギュアでの対戦コーナー。
自分で作ったタイトルバックやポスターが
巨大スクリーンに映し出される！！
怪獣バトルや記念撮影ができるコーナー

ぼくらの オリジナル作品づくり！！

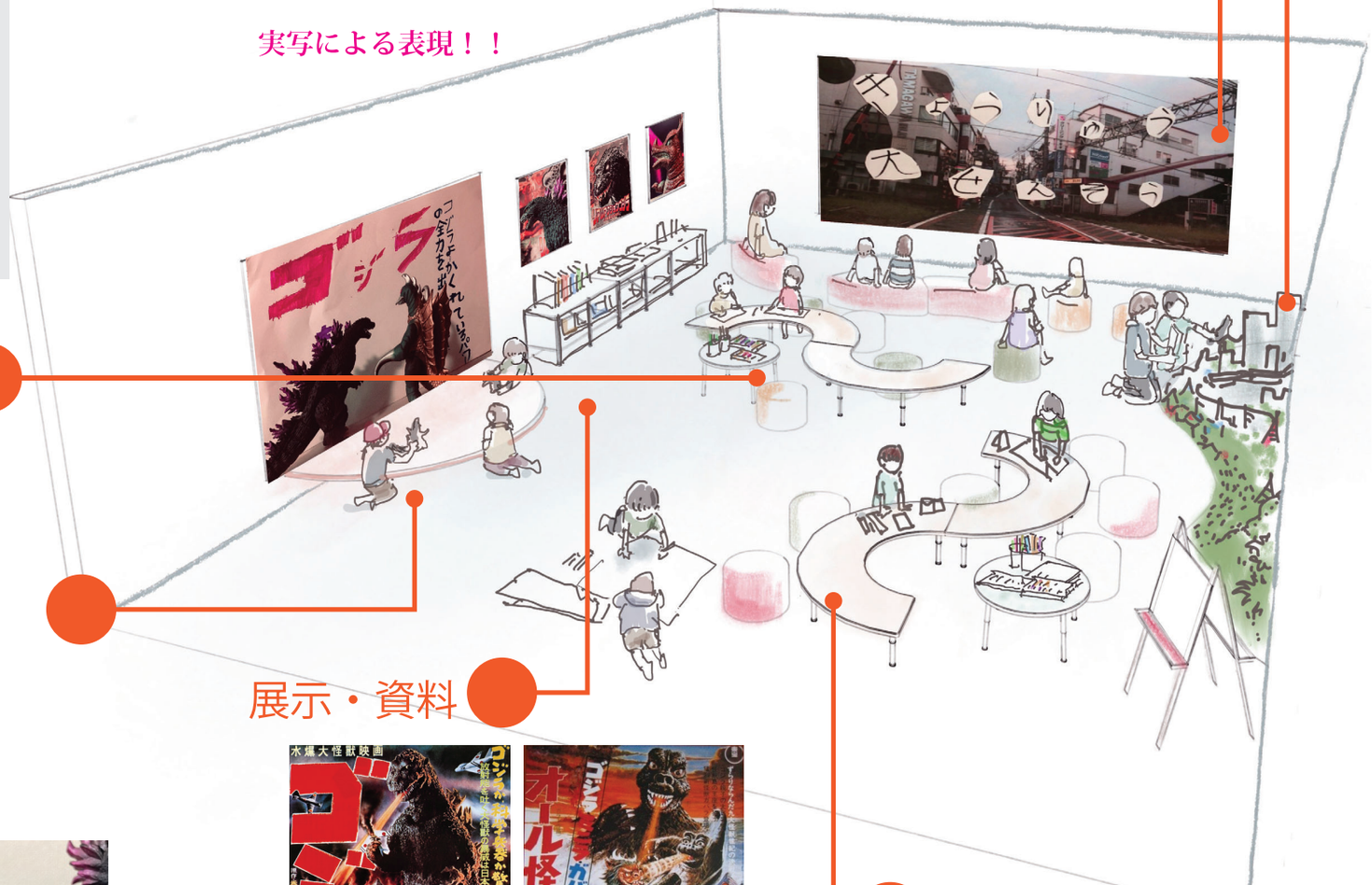
ジオラマセットコーナー

昭和の街を再現したジオラマセット。
怪獣フィギュアを置いて静止画を撮影。

大スクリーン

スマートフォンアプリを使ってオリジナル映画づくり。
ジオラマセットで撮影した静止画を繋げて映画を完成させ、
壁いっぱいの大きなスクリーンで上映できる。
みんなに見てもらえる楽しみも！！

実写による表現！！



展示・資料

背景・道具づくり

ダンボールや木工で
オリジナルの背景や小道具を制作

2. ラジコン四駆レーススタジオ事業

30代40代の親世代の子ども時代に人気を博したラジコンが、自分の子どもたちとともに楽しめるものとして復活しています。親子そろって楽しめるレトロとして、三十八間蔵前のスペースの活用や空き店舗を活用したイベントとしてレーススタジオを企画します。

また雪上レース大会などを実施し、冬の楽しみ方のひとつとして冬期の来訪者を促します。

80&90年代に流行した
人気が復活しているＲＣカー

レーススタジオカフェで、
女性も子どもも一緒に楽しめる

三十八間蔵前の
広いスペースを活用した
四駆レースイベント

雪上カーレース
参照：yellowspad.jp

空地を利用したカーレース場
参照：https://www.outseekers.com/

3. 蔵の中持ち出しレトロ市場

これまでのレトロミュージアムは、各家で眠っていた古いものを集めて主に適当に並べて展示するのみのものでしたが、きちんと入館料がとれる仕組みや何度も訪れる価値のある取り組みとして、工房で古いものをプリコラージュして創作したものや、見せるだけでなくコレクターなどに売ることもできるモノを調達し、定期的にレトロオークションを開催するなど、市場の様に活気あるミュージアムを展開します。

蔵の中に眠るお宝は、価値のある貴重なものだけでなく、一見価値のないようなものについても、アンティーク家具など新たに加工することで、価値を創出して一産業としての確立を目指します。

これまでのミュージアム（懐かしいものを展示のみ）

お宝市

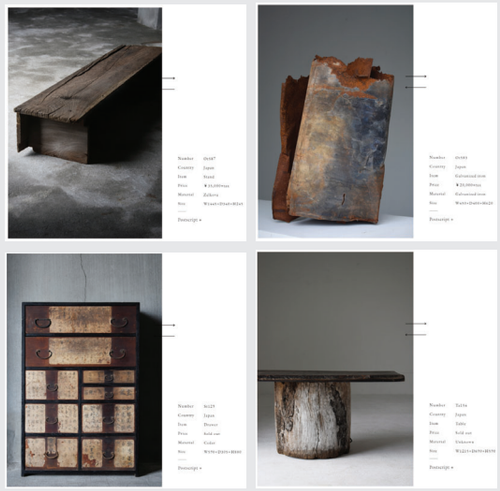
手ごろなものから、
プレミア販売やコレクター販売も
取り入れることで、
「これがこんな値段に!?」や
「集めてみたい!」など
驚きや興奮しながら楽しめる。

福岡県うきは市吉井町｜蔵しっく通りお宝の市
｜骨董品や古民芸などの骨董市
オークションも開催

参照：https://www.crossroadfukuoka.jp/

また使われるモノとして新たな場所へ

喜多方では見慣れた古道具や年代ものの端材なども
見せ方や発信方法によって、海外にまでファン層ができる



参照：https://apologia.jp/

＋

レトロ家具や小物を活用したスタジオリース事業

蔵やレトロな家具・古道具のある空間を、スチール撮影やムービー撮影等に貸し出し。
ほかではみられない、歴史ある蔵や他ではみられないような貴重な家具や小物などを使用して撮影することが可能。
蔵も蔵に眠る宝も、生かす！

ex：作品撮影｜古机を活用

ex：作品撮影｜籠を活用

ex：作品撮影｜蔵の壁の活用

4. テナントミックスプロジェクト

ふれあい通りでは、アーケード撤去や道路整備と合わせて景観協定を締結し、通り沿いの建物において修景整備も進められてきました。その結果、人通りも増加し空店舗の解消も進んだ経緯があります。しかし、道路整備から一定の期間が経過し、建替えや新たな外観整備が停滞しており、さらに後継者がいない等といった理由から、近年空店舗が増加しつつあり、今後さらに増えることが危惧されています。

商店主個人での再生が困難な状況にもあり、レトロ横丁商店街が　空店舗再生を図っていくことを目指します。

例えばここで･･･

かつて呉服店だった重厚な店蔵の「レディス島屋」は、2020 年 1 月に閉店し、現在空き店舗となっています。島慶園とあわせて喜多方の双璧と呼ばれていた重要な建築物で、商店街のほぼ中央に位置することもあり、周辺と一体的な活用が望まれます。

テナントミックス事業　コンセプトと実施概要

「レトロ横丁商店街」として単なる個々の「空き店舗対策」ではなく、
集客力ある魅力店舗・施設を、計画的・継続的に配置

個々では更新が期待できない空店舗の再生と、数軒セットの再生によるインパクト!!
一体的な情報発信による、来街者の増加と事業の継続性確保による新たな起業者の確保
レトロ横丁商店街周辺のよこみち、うらみちへの人の流れや賑わいを生み出す

テナントミックスプロジェクトの出店者の選定

「レトロ横丁商店街」のコンセプトに沿った、ストーリーを強化する店や地域の暮らしを支える店（惣菜屋さん、カフェ等）など、出店者を公募により選定するため、出店者に求める条件や関係者の役割分担等について整理して、公募要項を作成します。ここにしかないものをつくって発信する店（オリジナル雑貨店等）やここにこそほしい店をコンセプトに、事業説明会等を実施し、出店者を募集します。

改修補助や賃料を抑えるなどの工夫により、意欲ある若者や地域外の人でも出店しやすい仕組みをつくり、一体的な情報発信によって継続性を高めます。

起業者：有利な条件で店づくりにチャレンジ

初期投資の軽減補助事業による内装・外装改修

◇ 質の高い空間アレンジ
◇ 地元の素材、若い経営者の掘り起こし
◇ 地域のニーズにマッチする店舗等の計画配置
◇ 外からの新しい事業参入
◇ 点から線、面への展開

専門家が設計・経営の相談

◇ 質の高い空間と商品・サービスのアレンジ
◇ 空地・空店舗の提供者と使い手を仲介するシステムの構築
◇ まちのニーズ、業態や空間を活かすプロジェクトの提案
◇ エリアとしての集客力を高める業種の配置
◇ ショップ企画・開業後のサポート

テナントミックス手法イメージ

隣り合う数軒セットの空店舗や
空蔵・空地等の一括取得・管理

↓

「レトロ横丁商店街」のコンセプトに
基づいたテナントの検討

↓

テナントの公募と選定

↓

テナント決定後、テナントの要望を
踏まえながら数軒セットで改修

公募して住民が選んだテナント例

３軒並んで改修・開店することで相乗効果がみられる事例

空店舗２軒と寄贈を受けた町屋の３軒

↓

３軒一緒に改修することで１軒あたりの改修コストを抑える

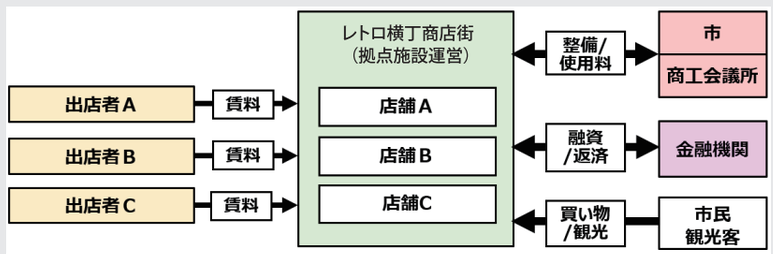
↓

３軒同時に開店することで話題性を高める

想定される事業方法（資金の流れ）

テナントミックス事業の実施

レトロ横丁商店街
＋
市+商工会議所



5. 職人のまち 工房プロジェクト

職人のまちであるしもなん地区には、規模の大きな空き施設や今後の活用が求められる工場等が多く存在しています。その特徴を生かして本格的な工作機械から、ミシンや３Dプリンターなど大小様々な工具が自由に使えるコワーキング工房を設け、ものづくり作家や起業希望のデザイナー、高校生や専門学校生などの利用や入居を促します。協働という形で新たなレトロな商品の製作や、様々な古いものの修理を受け付け、モノを生み出すとともに、モノをつないでいく形を作っていきます。

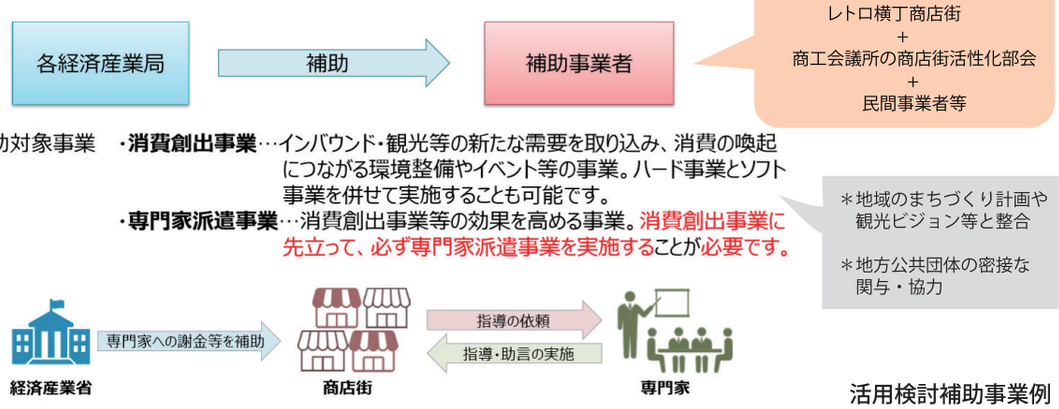
また職人の方々やシニア技術者などが講師となって、ものづくり体験や技術指導などを行い、まずは自分でものを作ることで、ものの価値を知ってもらう取り組みを進めます。

例えばここで・・・

駅からの道すじでレトロ横丁商店街への入り口となるしもなん地区は、その最初の辻にはコンビニが開業しましたが、向かい側は長い間空き店舗のままとなっています。

導入口として大事なエリアであるとともに、近くには第二小学校、第一中学校が立地し、子どたちが集まりやすい場所ともいえます。建物規模的にも大きな広さをもっており、同様のスペースをもつ他の建物とともに、活用を検討していきます。

ex：商店街活性化・観光消費創出事業（経済産業省）



○補助対象事業　**・消費創出事業**…インバウンド・観光等の新たな需要を取り込み、消費の喚起につながる環境整備やイベント等の事業。ハード事業とソフト事業を併せて実施することも可能です。

・専門家派遣事業…消費創出事業等の効果を高める事業。消費創出事業に先立って、必ず専門家派遣事業を実施することが必要です。

＊地域のまちづくり計画や観光ビジョン等と整合

＊地方公共団体の密接な関与・協力

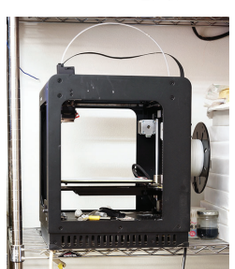
活用検討補助事業例

～蔵に眠る素材や最新技術を組み合わせて、新たなものづくり～　大型の工作機械だけでなく、3Dプリンターや電気炉も

古木+アイアンの創作

ものづくりの楽しさ・大変さを実際に味わう！

最新機器の３Dプリンターやレーザーカッター「rayjet」



ex：郡山国際ビューティ＆フード大学校

【飴細工実習：パティシエ学科】

パティシエ学科　キャンパスライフ　教育実績

先日、飴細工の授業を行いました🔍
実はこの飴細工、パティシエ学科2年生が卒業制作として作っています💖

それぞれ自分がイメージしたものを、一生懸命に制作していました🌈

子どもたちが喜ぶ飴細工などの、実習兼ねた販売事業への専門学校生への働きかけ etc

左官職人やタイル職人やシニア技術者 etc の方々による講義で技術を学びながら、実際に自分たちでもつくってみる体験。

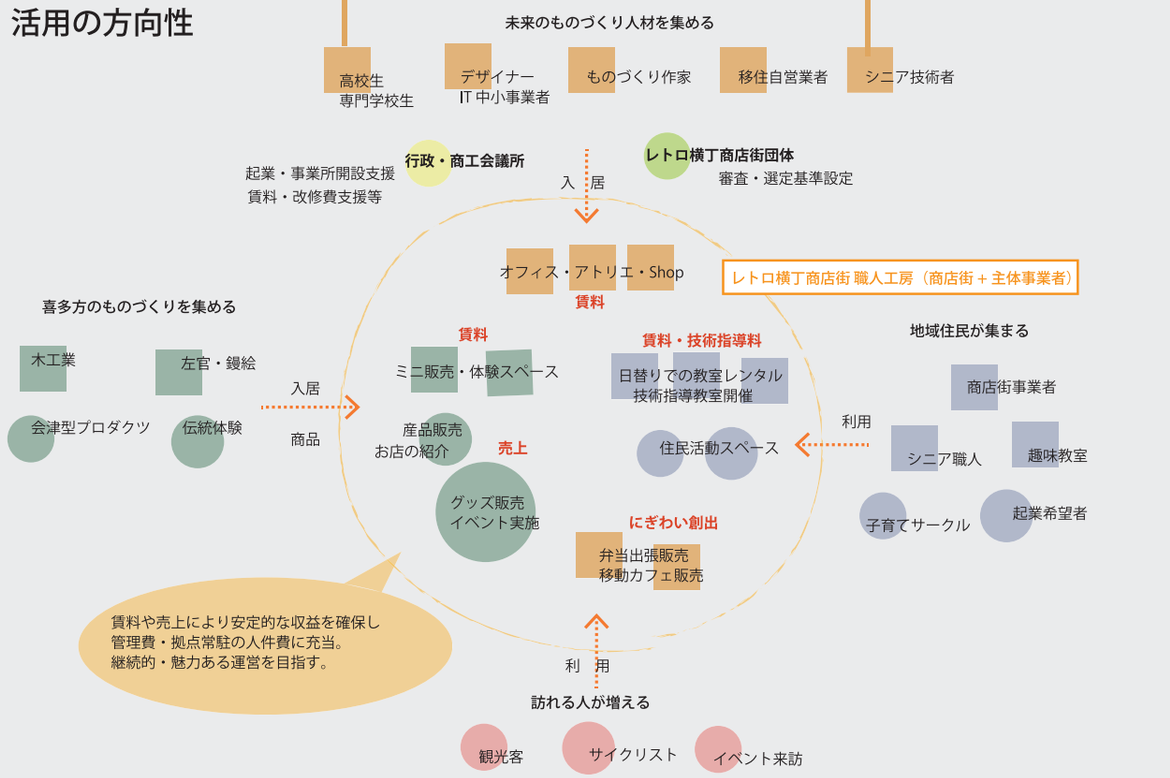
お年寄りでも
チャレンジしやすい
手毬づくり

↑鏝絵による看板づくり！

身近なものを自分で作って
実際に活用してみる！
タイルによる看板づくり。

鏝絵の技術を学ぶ

活用の方向性



職人のまち工房：導入機能イメージ

6. レトロまちなみづくり事業

蔵や歴史ある建造物はレトロ横丁商店街のまちなみを構成する大事な資源ですが、それらの歴史的な建造物だけでなく、どんなに小さな建物や空地でも、まちなみをつくっていく大切な一部です。多様な時代の装飾や色彩を参考にしながら、みんなで小さなことからでも修景を心がけることで、「レトロ横丁商店街」らしい活気あるまちなみづくりにつなげます。

基本の修景基準は、それぞれの商店街の景観協定に定めていますので、ここでは、今すぐにでも始められる取り組みを含めて実践のヒントを共有し、「まちがこうなったらいいな」と考えることからスタートします！

まちなみづくり実践のヒント

通りと建物の間の半公共スペース・演出
～小さなスペースがまちの質を決める～

建物の脇や軒下の小さなスペースにも工夫して上手に緑や花を飾ったり、店先にふらっと立ち寄りたくなるゆとりのスペースを設け、道行く人が休憩したり井戸端会議をしたり、お年寄りも訪れやすいまちをつくります。

小さなやさしさが通りを彩ります

新築・改築の際は、通りと建物の間に、ベンチを置いたり樹木を植えたり、道行く人が少し休憩できるようなスペースを設けて、にぎわい・おもてなしの空間を。

軒下空間にベンチとテーブル

店先にちょっとした腰掛け

展示スペース＋ベンチ

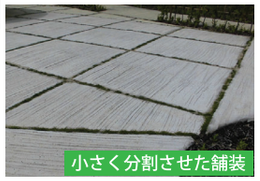
殺風景な駐車場にうるおいを

通りに面して駐車場を設ける際は、一部に板塀や植栽をほどこすことで、まちなみのつながりをつくることができます。

また通りからの地面の一部を少し緑にしたり、瓦やレンガを用いて舗装をデザインすることで、やわらかい印象になります。

駐車場にもまちなみの連続性を
～まち全体の雰囲気が大きく変わる～

暖かみある自然色の舗装


小さく分割させた舗装

大きな壁面をサインに・通りに対して開放的な店舗

通りから奥まった店舗の誘導

空きスペースを使ったイベント

喜多方市まちなみ景観形成事業費補助金制度

各商店街の景観協定区域内においては、良好な景観の形成の促進のために行う建築物の新築や外観の改修、看板の設置等の整備工事などにかかる経費については、次の経費を補助対象経費として交付を受けることができます。

■ 建築物	補助率 1/3 以内	補助限度額	50 万円
■境界建築物（門・塀等）	補助率 1/3 以内	補助限度額	20 万円
■建築付属物	補助率 1/3 以内	補助限度額	10 万円
■緑化	補助率 1/3 以内	補助限度額	10 万円

申請の手順

- 協　議 ： 協定運営委員会との協議
- ↓ 計画申請 ： 「実施計画認定申請書」を市へ提出
  - ①事業実施計画書
  - ②「喜多方市まちなみ景観形成事業対象団体認定通知書」の写し
  - ③設計図書（平面図・位置図・配置図・立面図）
  - ④工事見積書の写し　⑤工事着工前写真　⑥景観審査チェックシート
- ↓ 審　査 ： 審査を経て、市より「実施計画認定通知書」の交付
- ↓ 交付申請 ： 「着工届」を市へ提出
- ↓ 交付決定 ： 「完了届」を市へ提出
- ↓ 事業の着工 ： 「交付申請書」を市へ提出
- ↓ 事業の完了 ： 審査を経て、市より「補助金交付指令書」の交付
- ↓ 補助金請求 ： 「補助金交付請求書」を市へ提出
- ↓ 補助金受領

マーケット通り入口 2008

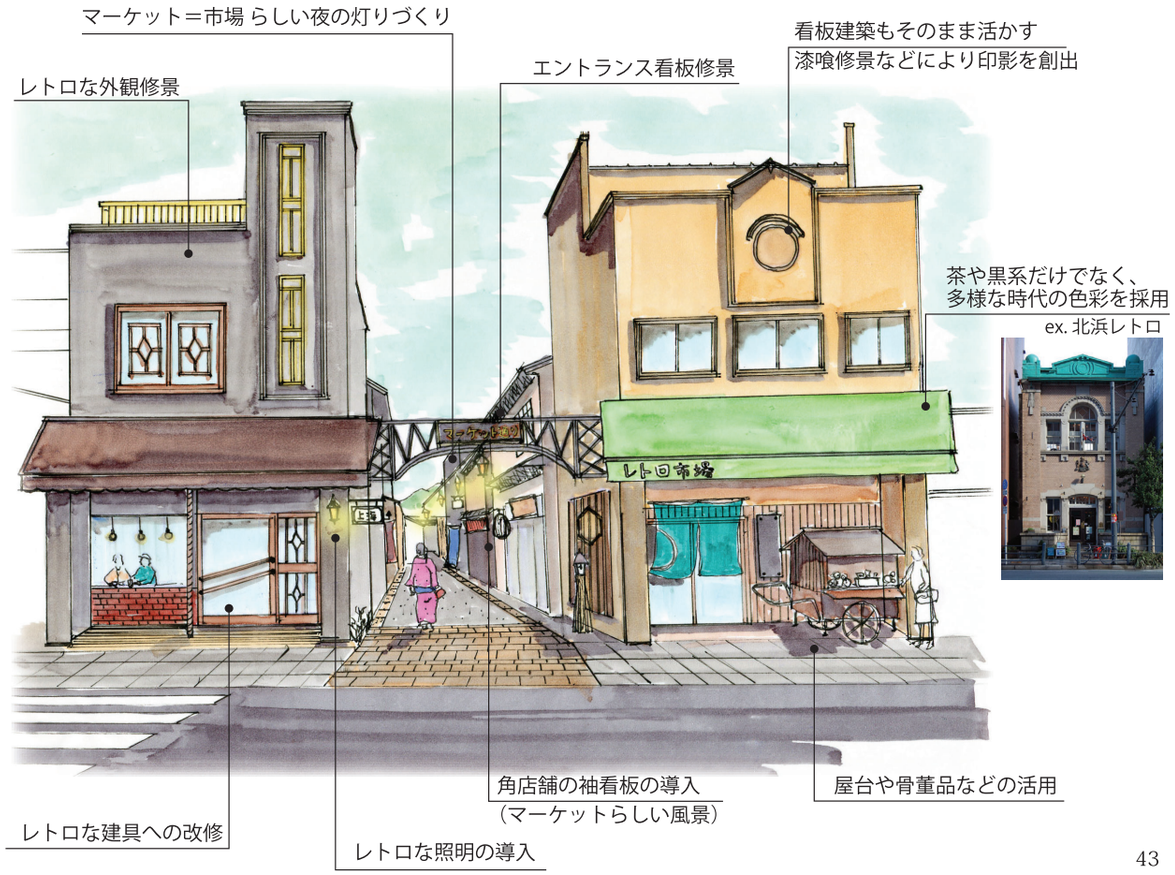
↓

マーケット通り入口 2020

↓

マーケット通り入口 2025 ！

レトロ横丁：マーケット通り修景イメージ



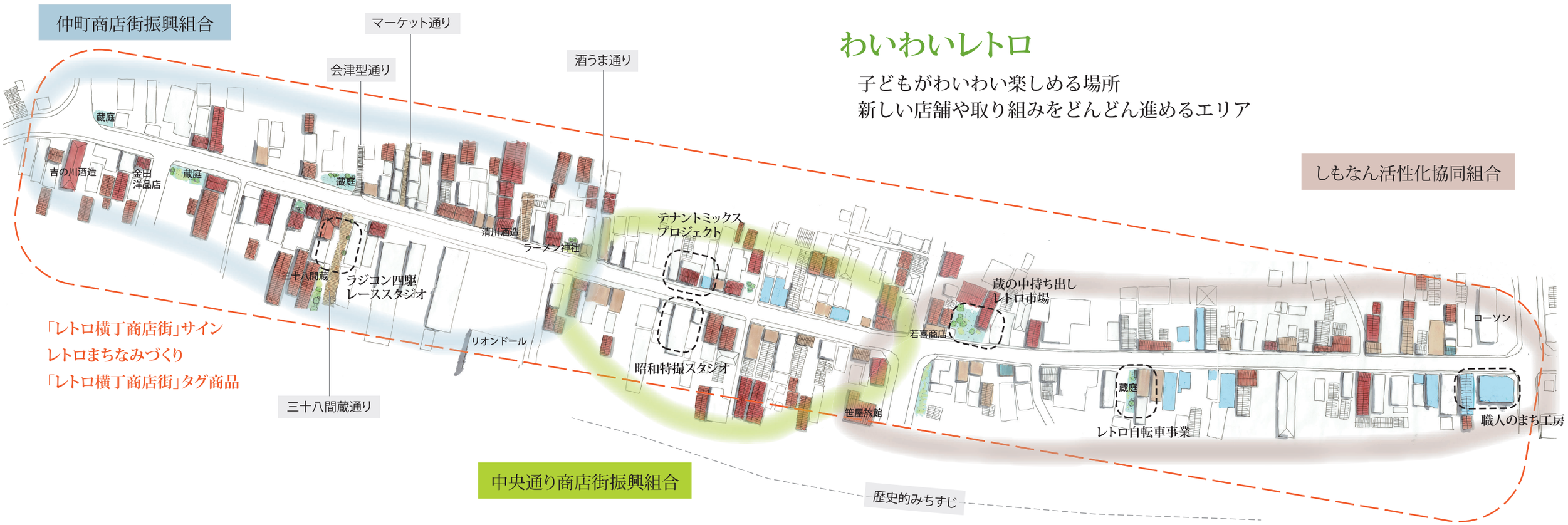
「レトロ横丁商店街」全体将来計画

ディープレトロ

修景も進んでおり三十八間蔵やマーケット通りなど、
喜多方らしい深みのあるまちなみや空間が体験できるエリア

わいわいレトロ

子どもがわいわい楽しめる場所
新しい店舗や取り組みをどんどん進めるエリア

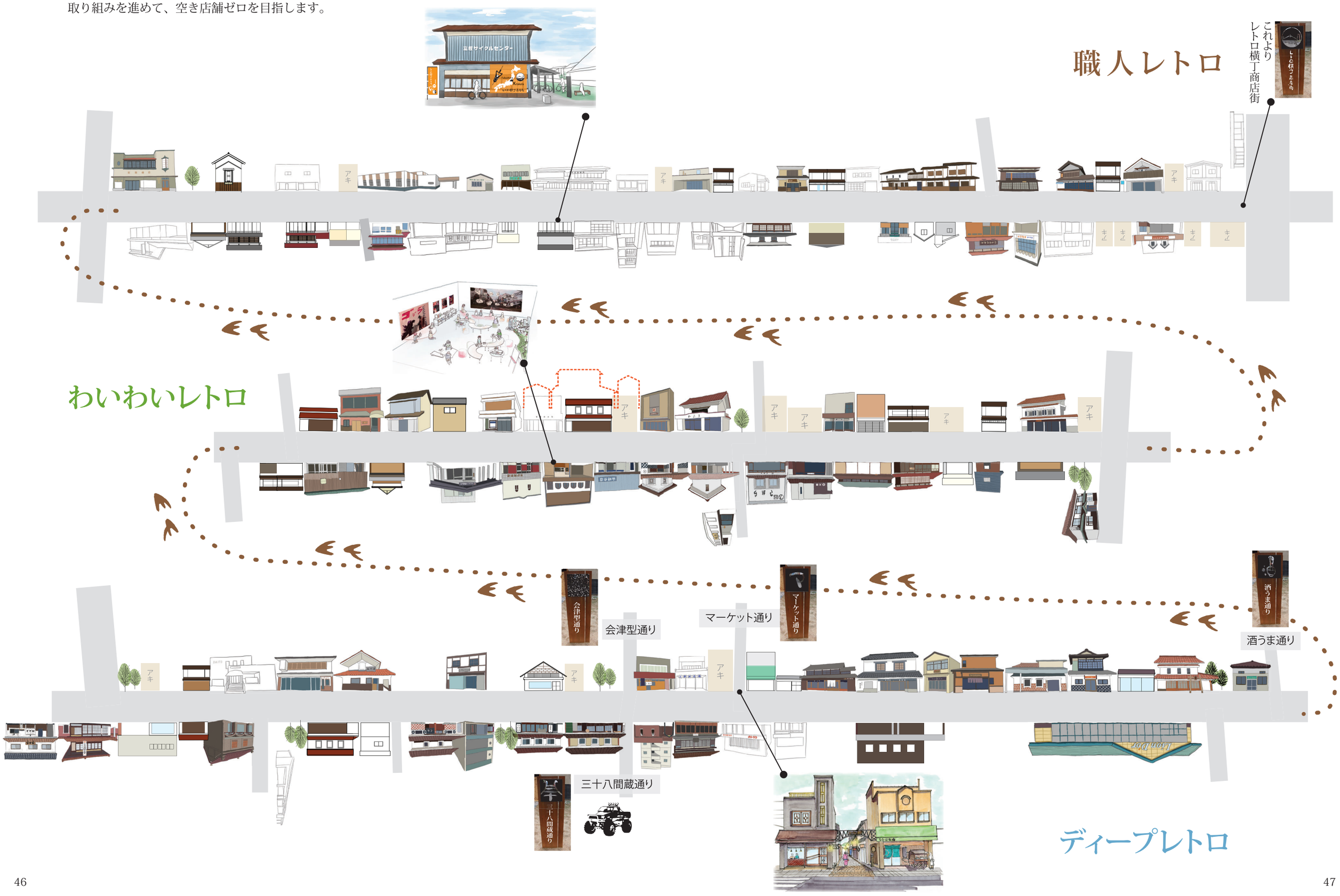


職人レトロ

大きな敷地や建物を活かして、ものづくりにはげむ空間
新しいモノをどんどん生み出すエリア

レトロ横丁商店街

サインや修景でまちなみをつなげていきます。
取り組みを進めて、空き店舗ゼロを目指します。



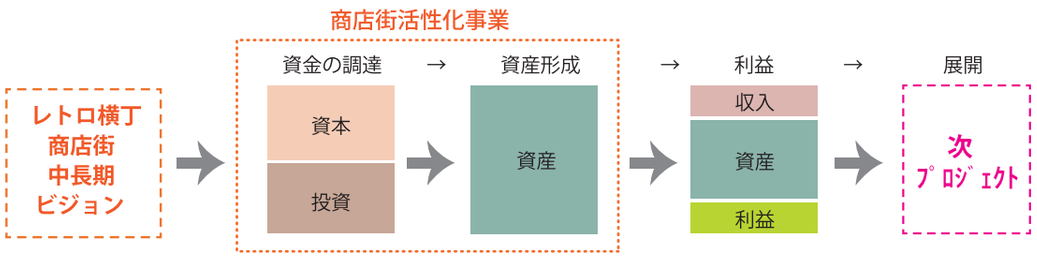
仕組みづくりと運営方法

事業の推進にあたっては、３つの商店街組合が「レトロ横丁商店街」として一体となり、既存の取り組みを進めながら、新たな事業については、市の事業や商工会議所と連携しながら、事業の運営形態や継続的な活動に向けて、「ヒト・モノ・カネ」のサイクルの展開を図っていきます。

仲町商店街振興組合　中央通り商店街振興組合　しもなん活性化協同組合

レトロ横丁商店街

連鎖的な「まちの資産」の形成



スタートアップ ステージ
組織運営体制
初期の収益事業の立上げ

パワーアップ ステージ
経営資源の蓄積
収益事業への新しい層の参画

イノベーション ステージ
経営資源による新事業の展開
新しい層の取り込み

考えられる 活用する事業や制度 など

- 商店街活性化・観光消費創出事業（国）
- 先導的官民連携支援事業
- 都市再生整備計画事業
- 街なみ環境整備事業
- まちなみ景観形成
- 空き家再生等推進事業
- まち・ひと・しごと創生 等
- 空き店舗対策事業
- 創業支援事業
- その他商工会議所事業

事業の展開シナリオ・スケジュール

	2021 →	2026 →	2030
昭和レトロの域をこえた新たなレトロの創生			
1.「レトロ横丁商店街」タグ商品事業	タグ商品付	新たなタグ商品の開発	継続
2.「レトロ横丁商店街」おせっ会	定期的におせっ会開催	外部専門家など招待	
3.昭和特撮スタジオ事業	検討・準備	実験的に開始	整備・実施
4.ラジコン四駆レーススタジオ事業	実験的実施	定着へ	内容の充実
5.レトロまちなみづくり事業	随時実施	他事業との連携・エリア的な修景実施	
知りたくなる・行きたくなる・自慢したくなる商店街			
1.インターネットサイトの充実	サイト開設　随時更新	サイトの充実	
2.「レトロ横丁商店街」サイン事業	既設サインの改修	新規サインの設置	
3.レトロ自転車事業	検討・準備　実験的に開始	施設の整備	定着へ
4.テナントミックスプロジェクト	検討・準備　他事業との連携	整備・実施	充実・展開
暮らしの場として愛される商店街			
1.蔵の中持ち出しレトロ市場	お宝集め/整理　イベント実施	定着	整備・実施
2.職人のまち 工房プロジェクト	検討・準備	実験的に開始	整備・実施
3.冬の雪まちを楽しむ特別メニューづくり	既存イベントの継続　強化	内容の充実	他事業との連携
4.空き店舗コーディネートプロジェクト	情報収集　体制準備　実験的に開始		体制の充実

RETRO YOKOCHO
SHOTENGAI

番外編

「レトロ横丁商店街」の未来に向けて

喜多方まちなか再生計画

喜多方市では、まちなかのまちづくりを進めるため、中心市街地における課題を把握し、その解決策を整備基本方針や重点事業などを示すことを目的に、「喜多方中心市街地（喜多方地区）整備基本方針」を策定しています。（2020.3）

以下は、設定されたまちづくりのテーマと、ふれあい通りと関連の深い事業の一部です。これらの計画と連携しながら、「レトロ横丁商店街中長期ビジョン」を進めていきます。

「喜多方中心市街地（喜多方地区）整備基本方針」

まちづくりのテーマ

- 魅力ある商店づくりにより、まちなかの賑わいを創出する
- まちなかの観光客を増やし、滞在時間を延長する
- 安全・安心でだれもが快適で生活しやすい環境を創造する

6 基本方針及び基本的戦略

まちづくりのテーマと重点課題から、３つの基本方針及び基本的戦略と重点事業を設定しました。

重点課題

新たな蔵・空家・空店舗の活用
- まちなかで「遊ぶ・泊まる・暮らす・働く」新たな観光・暮らしの提案

観光客の滞在時間延長
- 居心地のよい「まちなか」づくり
- 魅力的な宿泊施設の確保
- 夜まで楽しめるコンテンツづくり

まちなかと農村の連携
- まちなかと農村をつなぐ拠点形成（アンテナショップ、交流拠点）

まちなか周遊への誘導
- 歩きたくなる発見のある「よこみち」づくり
- 歴史的建造物を核としたエリアマネジメント

まちなかの住環境改善
- 老朽建物の建て替え促進
- 防災性の向上

基本方針

魅力を高め滞在したくなるまちづくり

まちなかの蔵や空家・空地の利活用の促進や、旧甲斐本家蔵住宅を中心とする上町、重伝建地区といった、歴史的建造物を核としたエリアマネジメントを進めながら、食文化や宿泊、体験メニューなど様々な面から魅力ある環境を提供し、観光客の滞在期間を延長する街づくりを目指します。

まちなかを周遊したくなるまちづくり

越後裏街道としての歴史ある緑町通りや歴史的なみちすじなど、ヒューマンスケールで魅力的な歩行空間でもある「うらみち・よこみち」の、沿道空間の修景や歩行者空間の改善など、歩きたくなるみちづくりを進め、まちなか周遊への誘導を図っていきます。

暮らしの場としてのまちなかの再構築

空家・空地等の既存ストックの活用により、多様な人々が働く場や交流の場をつくるとともに、老朽建物の建て替えや防災性向上のための環境づくりを進め、まちなかの暮らしの充実を目指します。

基本的戦略と重点事業

魅力的なまちなかの拠点づくり
- 重点事業１　緑町通りまちなか拠点形成プロジェクト
- 重点事業２　旧甲斐家蔵住宅の官民連携活用促進プロジェクト

夜まで楽しめる泊まりたくなるまちづくり
- 重点事業３　旧甲斐家蔵住宅周辺灯りプロジェクト

喜多方の全部を満喫できるコンテンツづくり

歩いて楽しいみちづくり
- ★緑町通りを「会津型通り」に！魅力向上プロジェクト
- ★市役所通りのみち・拠点づくり

まちなかを周遊したくなる仕組みづくり
- ★ マーケット通り修景とトイレ整備事業

暮らしやすく安全なまちづくり
- ★沿道民間敷地活用の安心・安全歩行空間づくり

蔵・空店舗・空家の活用による賑わいづくり
- ★ふれあい通りテナントミックスプロジェクト

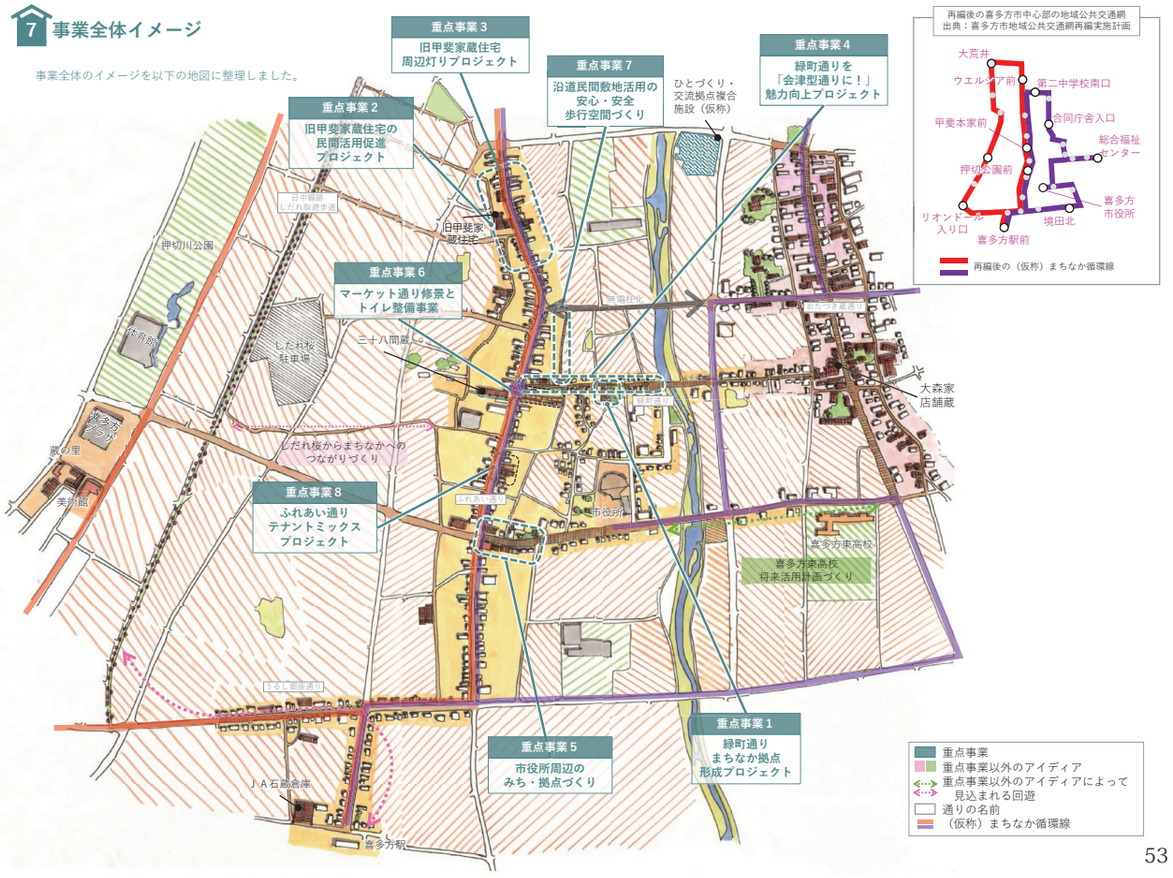
子育てしやすいまちづくり

参考 基本的戦略及び重点事業、基本事業アイディアの一覧表

基本方針	基本的戦略及び重点事業	基本事業アイディア
魅力を高め滞在したくなるまちづくり まちなかの蔵や空家・空地の利活用の促進や、旧甲斐本家蔵住宅を中心とする上町、重伝建地区といった、歴史的建造物を核としたエリアマネジメントを進めながら、食文化や宿泊、体験メニューなど様々な面から魅力ある環境を提供し、観光客の滞在期間を延長する街づくりを目指します。	**魅力的なまちなかの拠点づくり** ★重点事業１ 緑町通りまちなか拠点形成プロジェクト ★重点事業２ 旧甲斐家蔵住宅の官民連携活用促進プロジェクト	１ 蔵庭（まちかど広場）づくり ２ 小田付重伝建地区エリアマネジメント
	夜まで楽しめる泊まりたくなるまちづくり ★重点事業３ 旧甲斐本家蔵住宅周辺灯りプロジェクト	３ 「ALL喜多方」滞在+宿泊プログラムづくり ４ 蔵のライトアップの推進 ５ 喜多方満喫ツアー旅行商品化
	喜多方の全部を満喫できるコンテンツづくり	６ 農村地域まちなか発信事業 ７ 喜多方野菜のブランドづくり ８ 喜多方のまちの話が聞ける場所（お店）づくり
まちなかを周遊したくなるまちづくり 越後裏街道としての歴史ある緑町通りや歴史的なみちすじなど、ヒューマンスケールで魅力的な歩行空間でもある「うらみち・よこみち」の、沿道空間の修景や歩行者空間の改善など、歩きたくなるみちづくりを進め、まちなか周遊への誘導を図っていきます。	**歩いて楽しいみちづくり** ★重点事業４ 緑町通りを「会津型通り」に！魅力向上プロジェクト ★重点事業５ 市役所通りのみち・拠点づくり	９ しだれ桜からまちなかへのつながりづくり １０ まちなかチャレンジ・イベントスペースプロジェクト
	まちなかを周遊したくなる仕組みづくり ★重点事業６ マーケット通り修景とトイレ整備事業	１１ まちなか周遊マップ・サイン再構築プロジェクト １２ 暖簾・看板でつなぐまちなかづくり １３ まちなか周遊移動手段プロジェクト １４ レトロなまちなみガイドツアー
暮らしの場としてのまちなかの再構築 空家・空地等の既存ストックの活用により、多様な人々が働く場や交流の場をつくるとともに、老朽建物の建て替えや防災性向上のための環境づくりを進め、まちなかの暮らしの充実を目指します。	**暮らしやすく安全なまちづくり** ★重点事業７ 沿道民間敷地活用の安心・安全歩行空間づくり	１５ 防災スペース・堆雪スペースの整備 １６ 安全なまちづくり点検ＷＳ
	蔵・空店舗・空家・空地の活用・賑わいづくり ★重点事業８ ふれあい通りテナントミックスプロジェクト	１７ 空家コーディネートプロジェクト １８ 喜多方高校将来活用計画づくり １９ 空地活用「まちなか耕作」プロジェクト
	子育てしやすいまちづくり	２０ 空家を活用したコミュニティ・多世代交流の場づくり ２１ まちなか遊び場づくりプロジェクト

7 事業全体イメージ

事業全体のイメージを以下の地図に整理しました。



あの店この人

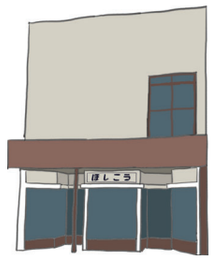
「レトロ横丁商店街」として、これからどんな風になっていったらよいか、どんなことをしていきたいか、あの店この人♪に聞きました。

まずは、会津喜多方商工会議所 会頭 佐藤富次郎氏から、商店街の展望を伺いました。

株式会社河京｜佐藤富次郎

やる気ある若手経営者は存在するが、商店街の未来が見えず行動を起こそうにも現実は難しい
町の方向性を示唆できれば、成長の可能性は残されている

・レトロ横丁商店街として、各々の商店魅力アップが目的　〈例えば会津木綿を始めた(有)ほしこう衣服店など〉
・若手経営者の行動力に期待したい　〈塩川屋｜山田　蔵人｜新谷　みつい生花店｜密井　など〉
・「昭和」を訴求した商店街の期待は、「温故知新」へむかう。古きを参考に、新しい・珍しい商品揃えが大切
・各商店と「レトロ」がリンクしていけば、魅力大
・「レトロ横丁商店街」として、毎月イベントが行われるとよい
・「レトロ横丁商店街」に、名物ポイントがいくつか発生していくようにする
・ターゲットは地元と観光客とそれぞれあるが、地元に愛される商店街でなければ成長はない
・口コミが発生するような、「知りたくなる」「見たくなる」「行きたくなる」「撮りたくなる」「自慢したくなる」商店街



(有)ほしこう衣服店｜星毅

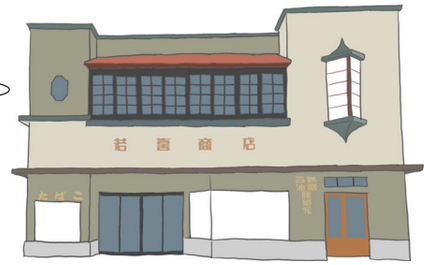
・新しいものづくり　地場産品　雑貨屋　など
・若い人から見たレトロと60代から見たレトロは違う
　古いもの≠レトロではなく、レトロの設定が必要では
・下南は職人のまち。例えばアイアン加工とかDIYできる工場とか誘致して、
　そこでものを作って、中央通り→仲町で売るという流れができればおもしろい
・景観協定などやってきたので、まちなみづくりはこれからも力をいれていってほしい

(有)みつい生花店｜密井康一

・子どもが喜ぶ事業があるといい
　例えば青年部ではイベントで巨大ラーメンなどを企画している
・伊勢内宮のおかげ横丁のように、レトロらしい景観をつくりたい
　道路がきれいになったのでファサードも
・三十八間蔵前の通りもきれいになるので、参道の様にランドマーク化
・会津型の産品（会津木綿など）やレトロ品を飾る

有限会社若喜商店｜冠木紳一郎

・円谷プロダクションなんかが、特撮のギャラリーを設置して話題
　になっている。ああいうことができてもいい
・喜多方では、蔵の中にみなお宝をもっている
　そういうものをこの機会に出してもらって披露するのはどうか

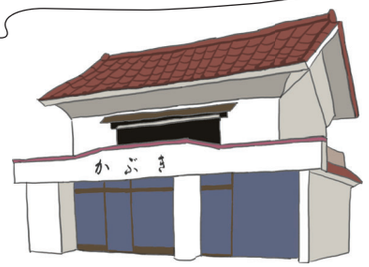


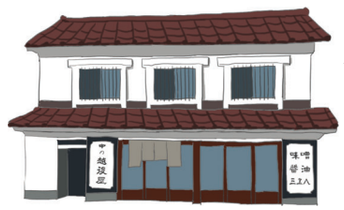
(有)かぶき薬店｜阿部浩一

・冬でも子どもが遊べる広場があるといい
・人が集まるところがあれば、必然的に弁当屋さんとかカフェとかができる
・商店街なので、生鮮品や生活必需品の店が出てくるといい
　惣菜やさんなんかは、一人暮らしの高齢者も増えているので需要は高い
　歩道が広くなり、融雪もされ日常に冬でも歩けるので
・ふれあい通り沿いだけでなく、一本裏に入ったところの出店も促していければ

かねだや衣料｜田部

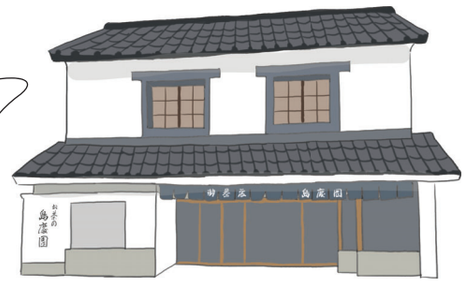
・店の中におしゃべりしながら休めるところがないところが多い。
　お年寄りの方が立ち寄って、休憩できる場所は必要
・イベントは毎月なにかがあり、たくさんやっているところだと思う
・喜多方にゆかりある彫刻家の彫刻を店の脇にも飾っているが、
　ほかにもあるので、こういうものを巡りながら歩けると楽しいのでは？





中の越後屋醤油店｜宇内誠

・若い人が立ち寄りたい店をもっと設けられれば
・観光客に向けた店も少ないように思う
・利き酒のイベントの時などは、セットでニラ味噌を提供している
　そんな風にいろんなことと連携できればよいと思う

島慶園｜長島慶司

・「レトロ横丁商店街」のサインプレートを付け替え
・三十八間蔵の前についても、整備されるこの機会に同様に
　通り名をきちんとつけて、今回の事業とともに生かしていきたい
・「レトロ」でなにをやるかはむずかしいが、
　ミニ四駆が人気が復活してきていると聞く
　どこかにスペースをつくるのもいいが、三十八間蔵の前の
　蔵庭でイベントするなど、場所の活用とともに考えたい